

TOPPING

DX5 II

モデル: TP742

バージョン 1.1

使用手冊 

User Manual 

内容 1. パッケージ内容	1
2. 製品の基本特性	1
3. サポート仕様	1
4. 各部の名称	2
フロントパネル	2
背面パネル	2
指示を表示する	3
リモコンの説明書	4
5. 接続する	5
入力ソースの接続	
ヘッドフォンを接続する	55
アンプまたはパワードスピーカーを接続する	6
12Vトリガー接続	6
6. 操作手順	7
電源オン/オフ/スタンバイ操作	7
音量設定	7
入力設定	8
出力設定	9

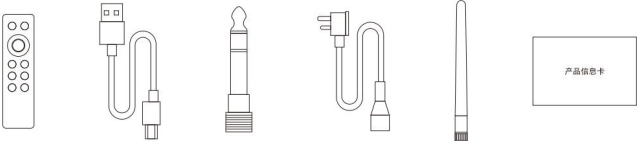
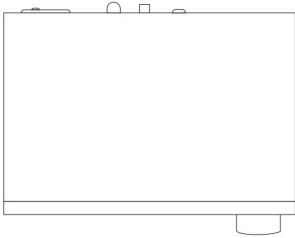
7. 設定メニュー	10
メニューに入って設定を変更する	10
メニューの概要	10
1. ディスプレイ	11
2. 入力設定	11
3. 出力設定	12
4. PEQ配置	13
5. 上級	13
6. 言語	14
7. 工場出荷時の設定に戻す	14
8. トラブルシューティング	15
9. 注記	15
10. パラメータ	16
11. 付録	

1. パッケージ内容

DX5 II ホスト リモ	× 1
ート コント	× 1
ロール、USB デー	× 1
タ ケーブル、6.35 mm から 3.5 mm ア	× 1
ダブター、AC 電	× 1
源コード、	× 1
Bluetooth アンテ	× 1

ナ、製品情報カード 説明: TOPPING 製品のドライバーは、

<https://www.toppingaudio.com/zh/downloads> からダウンロードできます。



2. 製品の基本特性

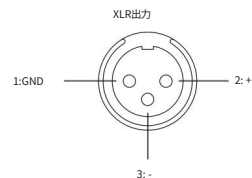
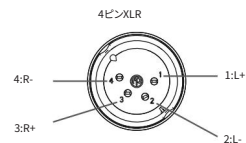
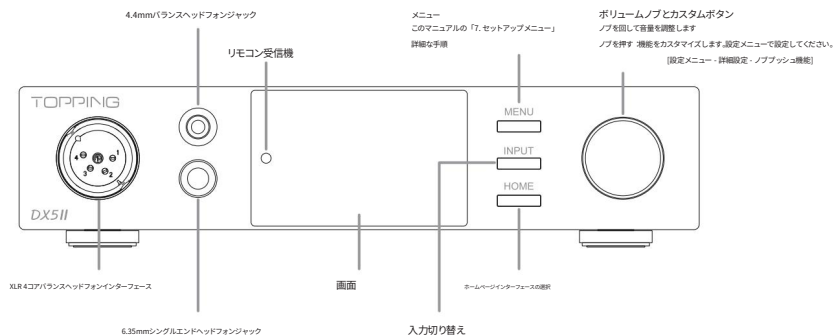
サイズ	19.0cm x 15.5cm x 4.4cm (突起部を含む)
単一機械重量電	945グラム
源	100~277VAC 50Hz/60Hz
入力インターフェース	USB/BT/光/同軸
ライン出力インターフェース	XL/R/CA
ヘッドフォンアンプ出力インターフェース	6.35mmヘッドフォンジャック
	4.4mmバランヘッドフォンジャック
	XL/R 4コアバランヘッドフォンインターフェース
その他の制御インターフェース	12Vトリガー入力 (3.5mmソケット)
	12Vトリガー出力 (3.5mmソケット)
Bluetooth受信距離	10メートル
見せる	2.8インチLCDカラーディスプレイ
制御方法	ボスト: 3つのボタン + 多機能ノブ
	ワイヤレス: リモートコントロール
待機電力消費	1.3W未満
通常動作電力消費	6W未満

3. サポート仕様

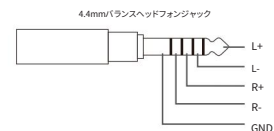
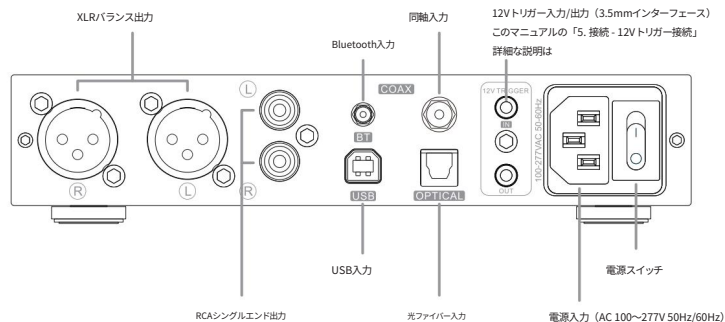
USB入力	PCM	44.1kHz~768kHz/16ビット~32ビット
	増分化乗乗	DSD64-DSD512 (ネイティブ) DSD64-DSD256 (DoP)
	PEQ	44.1kHz~192kHz/16ビット~32ビット
同軸/オプティン	PCM	44.1kHz~192kHz/16ビット~24ビット
	PEQ	44.1kHz-192kHz/16ビット-24ビット
BTイン	AAC/SBC/APTX/APTX HD/APTXアダプティブ/LDAC	
	PEQ	44.1kHz-96kHz/16ビット-24ビット

4. 各部の名称

フロントパネル



背面パネル



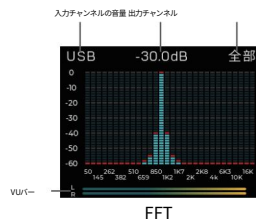
指示を表示する

ホームページの表示は通常、VU、FFTの3種類があり、フロントパネルのHOMEボタンを押すことで切り替えるか、メニュー[設定メニュー-表示-ホーム]で設定できます。ライン出力のみを使用する場合は、[設定メニュー-出力設定-ラインモード]でプリアンプモードとDACモードを設定できます。D.XS IIはプリアンプモードで音量調整が可能で、DACモードでは最大音量出力が維持され、音量調整はできません。また、ホームページの表示には若干の違いがあります。

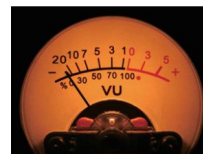
プリアンプモード



従来の



FFT

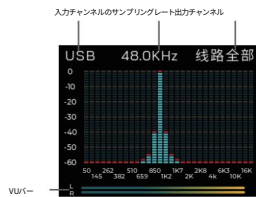


VU

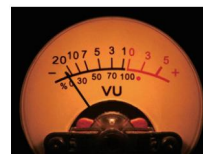
DACモード



従来の



FFT

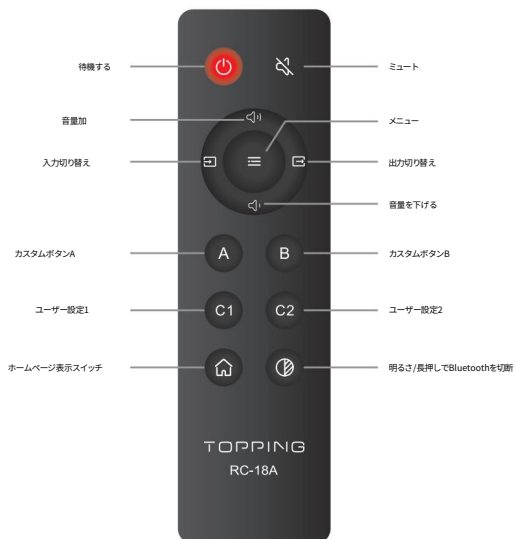


VU

*VUメーター、VUバー、FFTは、現在の入力におけるXLRコネクタの出力振幅を反映します。（ボリュームコントロールの影響を受けません）

※VUメーター、VUバー、FFTはDS0512をサポートしていません。

リモコンの説明書



A B

これら2つのボタンの機能はカスタマイズ可能で、詳細は「設定メニュー」の「詳細」に記載されています。

C1 C2

操作方法: C1/C2ボタンを3秒間押し続けると、現在の設定が保存されます。C1/C2ボタンを押すと、対応する設定が適用されます。保存される設定には、音量レベルと入力チャンネル、出力チャンネル、音量など、設定メニューのすべての設定が含まれます。機能説明: この機能は、以下の2つの使用シナリオのように、複数の使用シナリオを持つユーザーに適しています。DX5 IIIには、さまざまな使用シナリオに合わせて異なる設定があります。

DX5 II 設定	シナリオ1: ヘッドフォンでの使用	シナリオ2: スピーカーに接続する
入力チャンネル	USB入力ヘッド	Bluetooth入力
出力チャンネル	ホンアンプ	ラインすべて
ボリューム	-40dB	-20dB

シーン1からシーン2に切り替えるには、多くの設定を変更する必要があります。C1ボタンとC2ボタンを使って、それぞれ2つの設定を変更してください。

シーンのDX5 I設定は保存されます。シーン2に切り替えるときは、C2ボタンを押すだけですべての設定をワンクリックで呼び出すことができます。

設定を一つずつ変更する必要がなくなります。

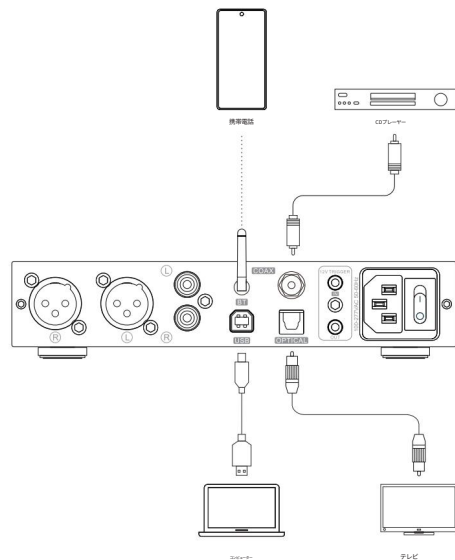


詳細は「設定メニュー」の「1-3 明るさ」に記載されています。

5. 接続する

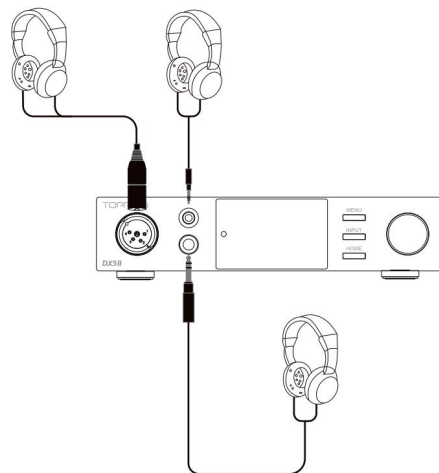
入力ソースの接続

入力インターフェースはUSB、光ファイバー、同軸、Bluetoothの4種類からお選びいただけます。



ヘッドフォンを接続する

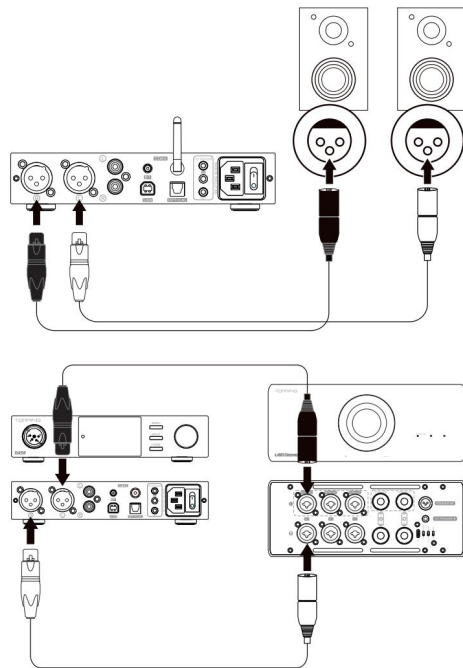
ヘッドフォンジャック出力は、4芯XLR、4.4mm、6.35mmの3種類を用意しています。



アンプまたはパワードスピーカーを接続する

RCAケーブルまたはXLRケーブルを使用して、アンプまたはパワードスピーカーに接続してください。接続する前に、アンプまたはパワードスピーカーの電源を切ってください。

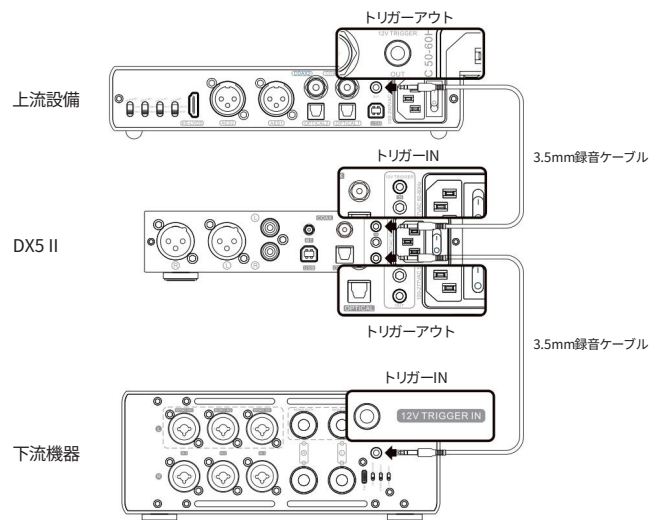
機器の損傷を防ぐために箱に入れてください。



12Vトリガー接続

12Vトリガーインターフェースを備えたデバイスを2台以上接続すると、それらのデバイスを同期してオン/オフできます。トリガー入力に接続された上流デバイスはDX5 IIのオン/オフを制御し、DX5 IIIはトリガー出力に接続された下流デバイスのオン/オフを制御します。

※DX5 IIのトリガーIN機能を使用する場合は、[設定メニュー - 詳細設定 - 電源オン/オフトリガー]で電源オン/オフトリガーを「12V」に設定する必要がありますのでご了承ください。

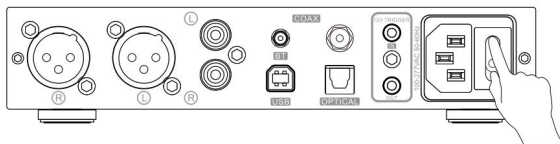


6. 操作手順

電源オン/オフ/スタンバイ操作

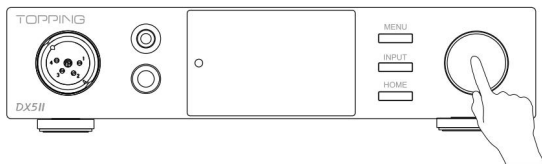
1. マシンの電源のオン/オフ

DX5 II の電源をオンまたはオフにするには、背面パネルの電源スイッチをオンまたはオフにします。



2. スタンバイとスタンバイ終了の設定

フロントパネル右側のノブを短く押すとデバイスの電源がオンになり、長く押すと電源がオンになります。リモコンも使用できます。



音量設定

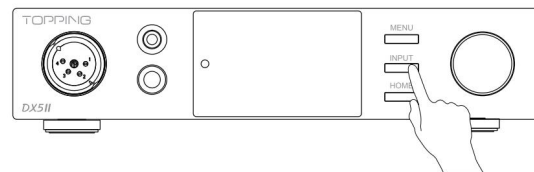
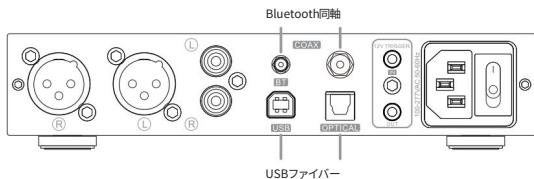
1. ミュート状態に入る、そしてミュート状態から出る

リモコンのミュートボタンを押すと、DX5 IIの出力がミュートされます。ミュート状態を解除するには、もう一度ミュートボタンを押すか、音量を調整してください。

2. 音量調整

DX5 IIの音量は、本体パネルのノブまたはリモコンの または ボタン (1) を押して、リモコンの または ボタンを長押しすると、音量が高速に調整されます。聴覚を保護するために、(2) 意 図 した (3) 注意 :DACモードでは、音量は0dBに固定され、音量調整は無効です。[設定メニュー-出力設定-ラインモード]

入力設定



1. 入力オプションの設定

デバイスには複数の入力チャンネルがあるため、切り替えに時間がかかる場合があります。効率を上げるには、

[設定メニュー - 入力設定 - 入力オプション] で、よく使用する入力チャンネルを事前にチェックしておく、入力ソースの切り替え時間を短縮できます。「有効な信号を自動検出」と「手動選択」の2つのモードに対応しており、実際の使用状況に合わせて設定できます。

・有効信号を自動検出 各入力インターフェース

一、有効な信号を受信しているかどうかをシステムが自動検出します。有効な信号が検出されると、その入力チャンネルは入力オプションに自動的に追加され、入力を切り替える際にこれらのチャンネル間の切り替えが実行されます。

・手動選択 (デフォルト)

必要な入力チャンネルを手動で選択することもできます。このオプションにチェックを入れると、システムは入力を切り替える際にこれらのチャンネルのみを使用します。

選択したチャンネルを切り替えます。

オプションの入力チャンネルには次のものがあります：

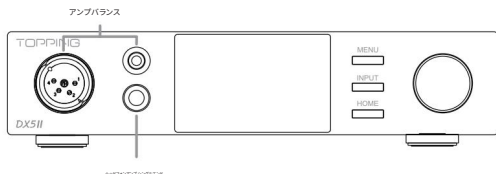
- ☒ USB
- ☒ 光ファイバー
- ☒ 同軸
- ☒ ブルートゥース

2. 入力チャンネルの切り替え

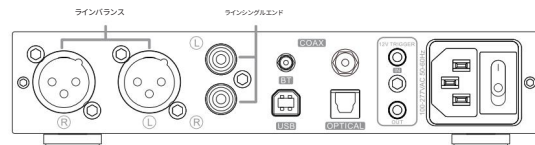
入力オプションの設定が完了したら、前面パネルの INPUT ボタンまたはリモコンの左側のボタンを押して入力を切り替えます。



出力設定



ヘッドフォンアンプの接続位置



1. 出力オプションの設定

本機は複数の出力チャンネルを備えているため、切り替えに時間がかかる場合があります。効率化を図るため、[設定メニュー]-[出力設定]-[出力オプション]でよく使用する出力チャンネルを事前にチェックしておくと、出力チャンネルの切り替え時間を短縮できます。

必要な時間、オプションの

出力チャンネルは次のとおりです。

- ☒ 全て
- ☒ ヘッドホンアンプすべて
- ☒ すべての行
- ☐ ヘッドフォンアンプ シングルエンド (6.35mmヘッドフォンジャック)
- ☐ バランス型ヘッドフォンアンプ (4.4mm/XLR-4ヘッドフォンジャック)
- ☐ ラインシングルエンド (RCA)
- ☐ ラインバランス (XLR)

2. 出力チャンネルの切り替え

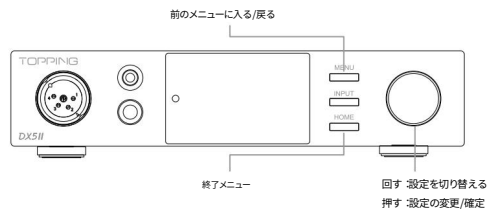
出力オプションの設定が完了したら、前面パネルのノブまたはリモコンの右側のボタンを押して**出力チャンネル**を切り替えます。スイッチ出力。

※ノブプッシュ機能はデフォルトで「出力選択」に設定されています。この機能を変更する必要がある場合は、[設定]-[詳細設定]-[ノブプッシュ]に移動してください。関数]。

7. 設定メニュー

メニューに入って設定を変更する

1. フロントパネルのボタンを使用する



2. リモコンの使用



メニューの概要



1. ディスプレイ

1-1 テーマ

さまざまなテーマから選択可能。デフォルトはAurora

1-2 ホームページ

ホームページの表示インターフェースを選択する

通常（デフォルト）、VU.FFT

1-3 明るさ

低、中（デフォルト）、高、自動。自動の明るさは中と同じ

じです。違いは、自動モードでは30秒間操作がないと画面が自動的にオフになることです。画面がオフになっている間は、現在の入力内容のみが表示されます。画面がオフになっている間は、任意のボタンをクリックすると画面が起動します。



USB

1-4 クラシック VU 0dB

VUインターフェースの0dB基準電圧を設定します。+4dBuに設定すると、ポインタが0dBを指しているときにDX5 IIの現在の出力振幅は+4dBuになります。+4dBu（デフォルト）、+10dBu

1~5 VUバー

VUバーのオン/オフ、または別のホームページインターフェース（完全にオープン（デフォルト）、通常のインターフェース、FFTインターフェース、完全にオフ）にVUバーを表示することを選択できます。

2. 入力設定

2-1 入力選択

USB（デフォルト） / 「入力オプション」チェックボックスに基づいてリストを循環します

2-2 入力オプション

本機は複数の入力チャンネルを備えているため、切り替えに時間がかかる場合があります。効率を上げるため、[設定メニュー-入力設定-入力オプション]でよく使用する入力チャンネルを事前にチェックしておくことをお勧めします。これにより、入力ソースの切り替えにかかる時間を短縮できます。「有効な信号を自動検出」と「手動選択」の2つのモードをサポートしています。実際の使用ニーズに合わせて設定できます。*有効な信号を自動検出 各入力インターフェースが有効な信号を受信しているかどうか

自動的に検出されます。有効な信号が検出されると、入力チャンネルは自動的に入力オプションに追加され、入力を切り替える際にこれらのチャンネル間で切り替えが行われます。*手動選択 必要な入力チャンネルを手動で選択することもできます。チェック後、入力を切り替える際に、

システムはこれらの選択されたチャンネル間でのみ切り替えます。オプションの入力チャンネルは次のとおりです。

- ☒ USB
- ☒ 4チャンネル
- ☒ 同軸
- ☒ 2チャンネル

2-3 UAC

UAC2.0（デフォルト）、UAC1.0

2-4 Bluetooth

有効（デフォルト）、無効

2-5 Bluetooth aptX

有効（デフォルト）、無効 このデバイス

は複数のオーディオコーデックをサポートしています。オフに設定すると、APT-X Adaptiveコーデックを無効にし、他のコーデックを使用できます（端末によって異なります）。

3. 出力設定

3-1 出力選択

すべて（デフォルト） / 「出力オプション」でチェックしたリストに従って循環

3-2 出力オプション

本機は複数の出力チャンネルを備えているため、切り替えに時間がかかる場合があります。効率化を図るため、「設定メニュー-出力設定-出力オプション」でよく使用する出力チャンネルを事前にチェックしておく、出力チャンネルの切り替え時間を短縮できます。オプションの出力チャンネルは以下の通りです。

- ☒ 全て
- ☒ ヘッドフォンアンプすべて
- ☒ すべての行
- ☐ ヘッドフォンアンプ シングルエンド (6.35mmヘッドフォンジャック)
- ☐ バランス型ヘッドフォンアンプ (4.4mmXLR-4ヘッドフォンジャック)
- ☐ ラインシングルエンド (RCA)
- ☐ ラインバランス (XLR)

3-3 PCMフィルター

F-1: 最小位相（デフォルト）

F-2: 線形位相高速ロールオフアポダイゼーション

F-3: 線形位相高速ロールオフ

F-4: 低リップルのための線形位相高速ロールオフ

F-5: 線形位相スローロールオフ

F-6: 最小位相高速ロールオフ

F-7: 最小位相スローロールオフ

F-8: 最小位相の緩やかなロールオフにより歪みが減少

3-4 ヘッドフォンアンプゲイン

低ゲイン（デフォルト）、高ゲイン

3-5 チャンネルバランス

調整可能な範囲は、C（バランス）、L+0.5〜9.5dB、またはR+0.5〜9.5dBです。（デフォルト：C）注：フロントパネルのノブを使用して設定する場合は、ノブを1回押して設定に入り、ノブを回して値を調整し、もう一度ノブを押して設定を終了します。

3-6 ボリュームステップ設定

0.5dB（デフォルト）、1dB

3-7 極性設定

標準（デフォルト）、反転

3-8 行モード

プリアンプ: 音量調整可能（デフォルト）

DAC: 最大音量出力を維持、音量は調整不可 注: DAC モードは、ライン出力のみを使用する場合に有効です。

4. PEQ配置

4-1 PEQ

無効（デフォルト）、有効

PEQサポート仕様	
USB入力	44.1kHz～192kHz/16ビット～32ビット
同軸/オプトイン	44.1kHz～192kHz/16ビット～24ビット
BTイン	44.1kHz～96kHz/16ビット～24ビット

4-2 PEQの選択

ユーザーが選択できる5つのデフォルトのプリセット設定が組み込まれています。デフォルトのプリセット設定は変更できませんのでご注意ください。

Topping Tune ソフトウェアは、オフラインで使用できる 5 つのカスタム構成を DX5 II に保存します。

5. 上級

5-1 電源オン/オフトリガー

信号：入力信号に基づいて電源のオン/オフをトリガーします。現在の入力が接続されていないか、現在の入力信号が1分以内に無効な場合、自動的にスタンバイモードになります。いずれかの入力で有効な信号が検出されると、自動的に通常の動作を再開します。（デフォルト）12V、12V信号に基づいて電源のオン/スタンバイをトリガーします。12V

トリガー出力を備えたデバイスを DX5 II のトリガー入力に接続すると、DX5 II の電源オン/スタンバイを制御できます。トリガー入力インターフェースが12V信号が「いいえ」から「はい」に変化したことを検出すると、DX5 II は自動的に電源がオンになります。12V信号が「はい」から「いいえ」に変化すると、DX5 II は自動的にスタンバイモードになります。

オフ：この機能をオフにする

5-2 ボリュームメモリモード

出力に従う：各出力チャンネルが最後に使用されたときの音量とヘッドフォン アンプのゲインを記憶し、次回そのチャンネルを使用するときに使用します。

チャンネルを切り替えると、音量は最後に使用した音量に自動的に戻ります。（デフォルト）

入力に従う：各入力チャンネルが最後に使用されたときの音量とヘッドフォン アンプのゲインを記憶し、次回そのチャンネルを使用するときに使用します。

チャンネルを切り替えると、音量は最後に使用した音量に自動的に戻ります。

なし：この機能を使用しない

5-3 PEQメモリ方式

出力追従：各出力チャンネルのPEQ設定を記憶し、次回使用時に自動的にPEQ設定を復元します。（デフォルト）入力追従：各入力チャンネルのPEQ設定を記憶し、次回使用時に自動的にPEQ設定を復元します。なし：この機能を使用しない

5-4 リモコン

有効（デフォルト）、無効

5-5 ノブプレス機能

カスタマイズ可能なブッシュノブ機能

出力選択（デフォルト）、ホームページ選択、明るさ選択、画面オフ、ミュート、PEQ選択、電源オン/オフトリガー、PCMフィルター、ヘッドフォンアンプゲイン、PEQスイッチ、入力選択

5-6 リモコンボタンAの機能

カスタマイズ可能なリモコンボタンA機能

出力選択、ホームページ選択、明るさ選択、画面オフ、ミュート、PEQ選択（デフォルト）、電源オン/オフトリガー、PCMフィルター、ヘッドフォンアンプゲイン、PEQスイッチ、入力選択

5-7 リモコンボタンBの機能

カスタマイズ可能なリモコンボタンBの機能

出力選択、ホームページ選択、明るさ選択、画面オフ、ミュート、PEQ選択、電源オン/オフトリガー、PCMフィルター、ヘッドフォンアンプゲイン、PEQスイッチ、入力選択（デフォルト）

6. 言語

英語、中国語

7. 工場出荷時の設定に戻す

「工場出荷時の設定に戻す」を選択すると、ポップアップウィンドウが表示されます。「OK/キャンセル」（色で選択）を選択し、リモコンの中央ボタンまたは前面パネルのノブを押して選択を確認します。

8. トラブルシューティング

ご使用中に問題が発生した場合は、以下のリンクから適切な解決策を見つけてください。<https://www.toppingaudio.com/zh/faq> 検索方法 :Windows

OSの場合はキーボードのCtrlキーとFキーを同時に押したまま (Mac OSの場合はCommandキーとFキーを同時に押した

まま)検索に入り、デバイスのモデルを入力すると、デバイスのFAQにジャンプできます。それでも問題が解決しない

場合は、service@tpdz.netまでお問い合わせください。

9. 注記

1.高温多湿の場所に置いたり、雨や強い衝撃にさらしたりしないでください。2.ユニットの筐体を勝手に分解しない

てください。修理が必要な場合は、専門の保守担当者に依頼してください。3.本製品は屋内専用

です。4.製品の故障により直接的また

は間接的に生じた損失や損害については、当社は一切の責任を負いません。5.製品改良のため、仕様および機

能は予告なく変更される場合があります。

10. パラメータ

DX5 II デコードパラメータリスト (LineOut/USB In@96kHz)		
	RCA	XLR
全高調波歪み+ノイズ@1kHz (A-wt)	<0.00008%	<0.00006%
全高調波歪み@20-20kHz 90dBw	<0.0005%	<0.00015%
信号対雑音比@1kHz (A-wt)	128デシベル	132デシベル
ダイナミックレンジ@1kHz (A-wt)	128デシベル	132デシベル
周波数応答	20Hz~20kHz (±0.3dB)	20Hz~20kHz (±0.3dB)
	20Hz~40kHz (±1.0dB)	20Hz~40kHz (±1.0dB)
出力振幅	2.5Vrms @0dBFS	5.0Vrms @0dBFS
ノイズフロア@A-wt	<1.1uVrms	<1.3uVrms
サリズメントレップ	-135dB @1kHz	-147dB @1kHz
チャンネルバランス	0.3 dB	0.3 dB
出力内部抵抗	50Ω	100Ω

※注：上記データは、AC220V 50Hzの条件下でTOPPING研究所がテストした結果です。

DXS II ヘッドフォンアンプ パラメータリスト (USB 入力@96kHz)		
	6.35mmヘッドフォンジャック	4.4mm/XLR 4ピンヘッドフォンジャック
全高調波歪み+ノイズ @1kHz (A-wt)	出力200mW(32Ω)で0.00008%未満	出力850mW (32Ω)で0.00008%未満
	<0.00007% @出力=22mW(300Ω)	出力90mW (300Ω)で0.00007%未満
全高調波歪み @20-20kHz (45dB)	出力200mW(32Ω)で0.00060%未満	<0.00050% @出力=850mW(32Ω)
	<0.00050% @出力=22mW(300Ω)	<0.00050% @出力=90mW (300Ω)
信号対雑音比@最大出力1kHz (A-wt)	131dB @1kHz	1kHzで133dB
ダイナミックレンジ@1kHz (A-wt)	131dB @1kHz	1kHzで133dB
周波数応答	20Hz~20kHz (±0.3dB)	20Hz~20kHz (±0.3dB)
	20Hz~40kHz (±1.0dB)	20Hz~40kHz (±1.0dB)
出力振幅	7.2Vpp @G=L	15.0Vpp @G=L
	24.2Vpp @G=H	48.0Vpp @G=H
ノイズフロア (A-wt)	<1.1uVrms @G=L	<1.6uVrms @G=L
	<2.5uVrms @G=H	<4.3uVrms @G=H
サチュレーション	-127dB @1kHz	-143dB @1kHz
得	G=L 8.6dB(Vrms/FS)	G=L 14.6dB(Vrms/FS)
	G=H 18.7dB(Vrms/FS)	G=H 24.7dB(Vrms/FS)
チャンネルバランス	0.3 dB	0.3 dB
出力インピーダンス	<0.1Ω	<0.1Ω
出力電力	3300mW x 2 @16Ω THD+N<1%	7600mW x 2 @16Ω THD+N<1%
	2200mW x 2 @32Ω THD+N<1%	6400mW x 2 @32Ω THD+N<1%
	1160mW x 2 @64Ω THD+N<1%	4300mW x 2 @64Ω THD+N<1%
	250mW x 2 @300Ω THD+N<1%	990mW x 2 @300Ω THD+N<1%
	120mW x 2 @600Ω THD+N<1%	490mW x 2 @600Ω THD+N<1%
最低インピーダンス	>8Ω	>8Ω

※注 :上記データはTOPPING研究所がAC220V 50Hzの条件下でテストした結果です。

カタログ

1.目次	1	7.セットアップメニュー	10
2.属性	1	メニューに入り、設定を変更する	10
3.入力範囲	1	メニューの概要	10
4.各部の名称	2	1.ディスプレイ	11
フロントパネル	2	2.入力設定	11
リアパネル	2	3.出力設定	12
画面	3	4.PEQ設定	13
リモコン	4	5.上級	14
5.接続	5	6.言語	15
入力ソースに接続する		7.工場出荷時設定にリセット	15
ヘッドホンに接続する		8.トラブルシューティング	15
アンプまたはアクティブスピーカーに接続する		9.注意事項	15
12Vトリガーを接続する	6	10.仕様	16
6.操作		11.付録	
電源オン・オフ/スタンバイ操作			
音量設定			
入力設定			
出力設定			

1.目次

DX5 II	× 1
リモコン	× 1
USBケーブル	× 1
6.35mmから3.5mmへのアダプター	× 1
ACケーブル	× 1
Bluetoothアンテナ	× 1
製品情報カード	× 1

注: ドライバーは以下からダウンロードできます。

<https://www.toppingaudio.com/downloads>

2.属性

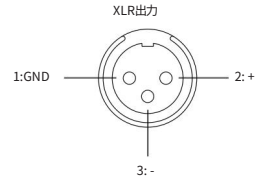
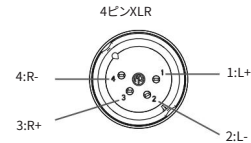
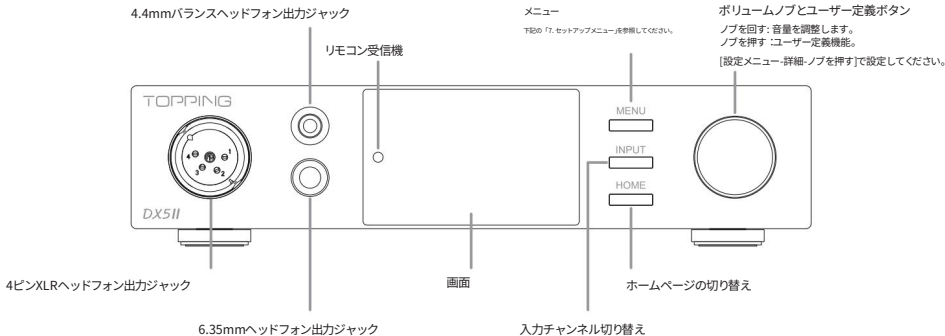
測定済み	19.0cm x 15.5cm x 4.4cm (突起部含む)945g
重さ	
電源入力	100~277VAC 50Hz/60Hz
信号入力	USB/BT/光/同軸
ライン出力	XLR/RCA
ヘッドホン アンプ出力	6.35mmヘッドフォン出力ジャック 4.4mmヘッド フォン出力ジャック
	4ピンXLRヘッドフォン出力ジャック
	12Vトリガー入力 (3.5mmジャック)
その他のコネクタ	12Vトリガー出力 (3.5mmジャック)
Bluetooth範囲	1000万
画面	2インチ液晶
コントロール	3つのボタン + 多機能ノブ
	+ リモコン
スタンバイ時の消費電力	1.3W未満
消費電力	6W未満

3.入力範囲

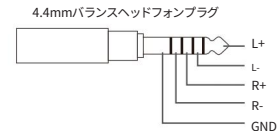
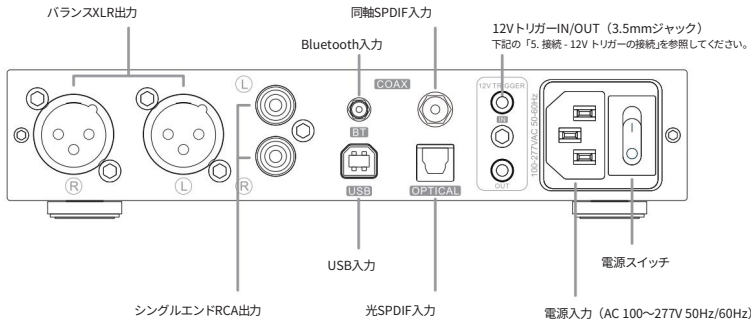
USB入力	PCM	44.1kHz~768kHz/16ビット~32ビット
	デシマライズ	DSD64-DSD512 (ネイティブ) . DSD64-DSD256 (DoP)
	PEQ	44.1kHz~192kHz/16ビット~32ビット
同軸/オプトイン	PCM	44.1kHz-192kHz/16ビット-24ビット
	PEQ	44.1kHz-192kHz/16ビット-24ビット
BTイン	AAC/SBC/APTX/APTX HD/APTXアダプティブ/LDAC	
	PEQ	44.1kHz-96kHz/16ビット-24ビット

4.各部の名称

フロントパネル



リアパネル



画面

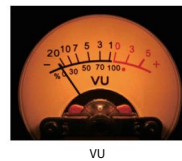
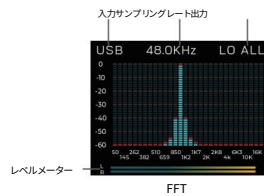
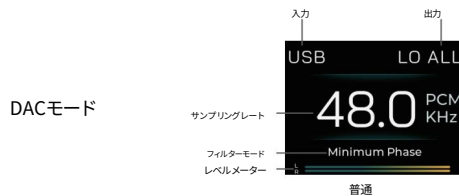
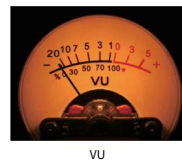
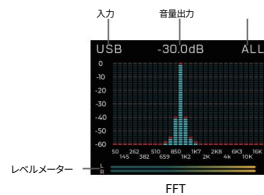
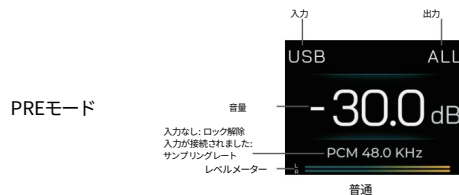
ホーム ページの表示には、通常、VU、FFT の 3 種類があり、フロント パネルの HOME ボタンをタッチするか、メニュー [Setup Menu-Display-Home] で設定して切り替えることができます。

ライン出力のみ利用可能な場合は、[設定メニュー-出力設定-ライン出力モード]でPREモードとDACモードを設定できます。

PREモード :音量を調整できます。

DAC モード: DX5 II は最大音量出力を維持し、音量は調整できません。

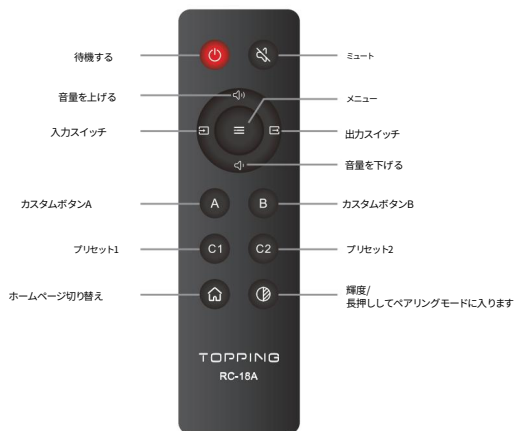
DAC モードと PRE モードのホームページの表示は若干異なります。



*VUメーター、FFT、レベルメーターはXLRの出力レベルをモニターまたは反映します。(PREモードではボリュームの影響を受けません。)

※VUメーター、FFT、レベルメーターはDSD512をサポートしていません。

リモコン



A B

これら2つのボタンの機能はカスタマイズ可能です。詳細は、以下の「設定メニュー」の「詳細設定」をご覧ください。

C1 C2

操作方法：C1/C2ボタンを3秒間長押しすると現在の設定が保存されます。C1/C2ボタンを短く押すと対応する設定が適用されます。

保存された内容: 音量、入力チャンネル、出力チャンネルなど、セットアップメニューのすべての設定。

用途：この機能は、以下の2つの例のように、複数の使用シナリオを持つユーザーに適しています。C1ボタンとC2ボタンを使って設定を保存・読み込みすることで、使用シナリオを変更する際に設定を一つ一つ変更する必要がなくなります。

DX5 IIの設定	使用シナリオ1： ヘッドフォンで接続	使用シナリオ2： スピーカーとつながる
入力チャンネル	USB	Bluetooth
出力チャンネル	HPA ALL (すべてのヘッドフォン出力)	LO ALL (全ライン出力)
音量	-40dB	-20dB

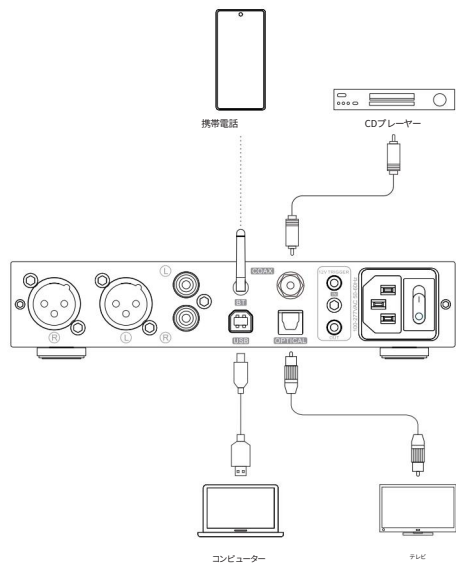
④

下記の「設定メニュー」の「1-3 明るさ」を参照してください。

5.接続

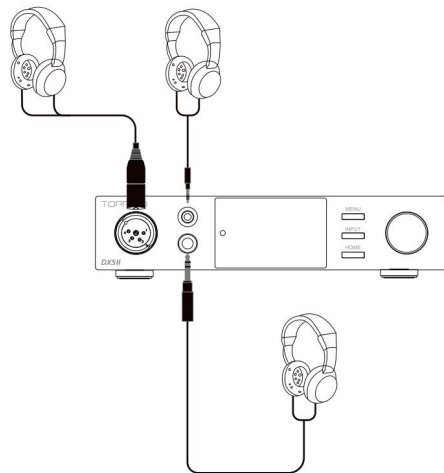
入力ソースに接続する

USB、同軸、光、Bluetooth 入力をサポートします。



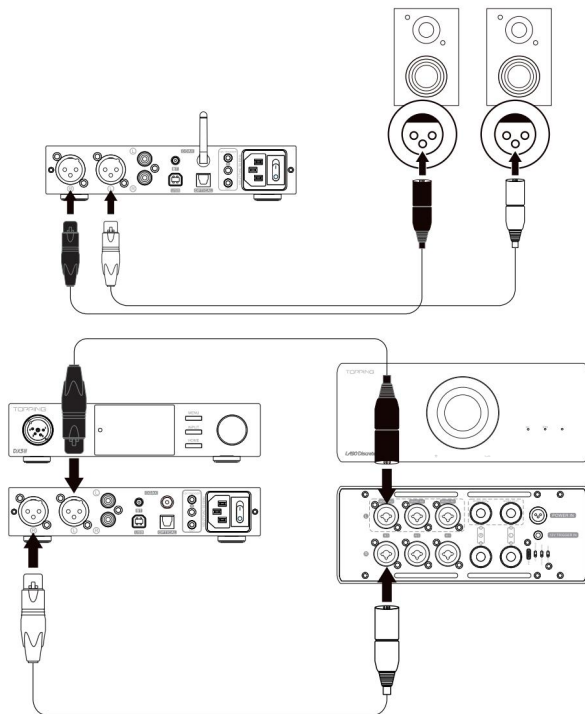
ヘッドホンに接続する

ヘッドフォンジャックはXLR-4、4.4mm、6.35mmの3種類があります。



アンプまたはアクティブスピーカーに接続する

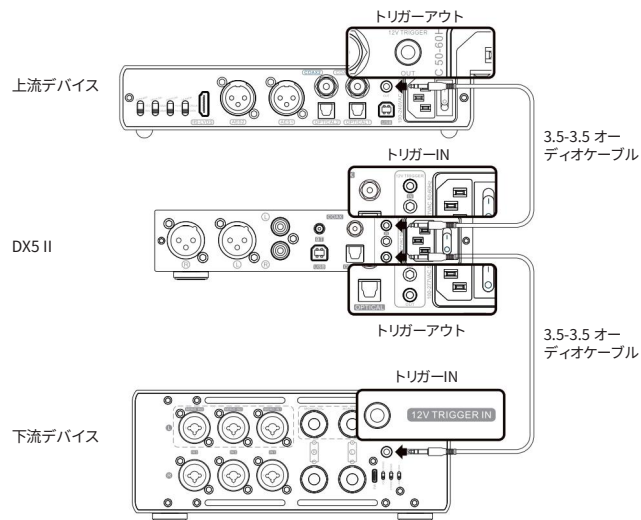
アンプやアクティブスピーカーへの接続には、XLRまたはRCAケーブルをご使用ください。機器の損傷を防ぐため、アンプやアクティブスピーカーをDX5 IIIに接続する前に、必ず電源を切ってください。



12Vトリガーを接続する

12Vトリガー入力/出力により、DX5 IIを他のデバイスから起動したり、3.5mm AUXケーブルを介して他のデバイスを起動したりできます。トリガー入力に接続された上流デバイスはDX5 IIの電源オン/スタンバイを制御でき、トリガー出力に接続された下流デバイスはDX5 IIから制御できます。

*トリガーIN機能を使用する前に、オン/オフトリガーモードを設定メニューで「12V」を選択します。[設定メニュー-詳細-オン/オフトリガー]

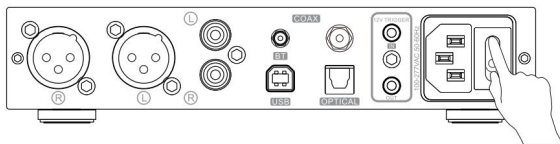


6. 操作

電源オン・オフ/スタンバイ操作

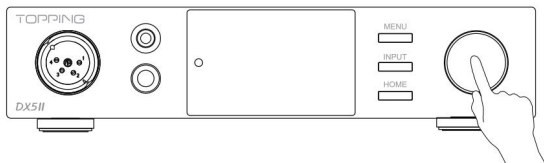
1. 電源のオン/オフ

DX5 II の電源をオンまたはオフにするには、背面パネルの電源スイッチを押します。



2. スタンバイ設定

ノブを短く押すと電源が入り、長押しするとスタンバイ状態になります。またはリモコンもご利用いただけます。



音量設定

1. ミュートとミュート解除

リモコンのミュートボタンを押してDX5 IIをミュートするには、ミュートボタンを押しますもう一度押すか、音量を調整してミュート状態を終了します。

2. 音量調整

フロントパネルのノブを使用するか、

リモコンで音量を調整します。長押しすると

リモコンのボタンを押すとすぐに音量が変わるので注意してください

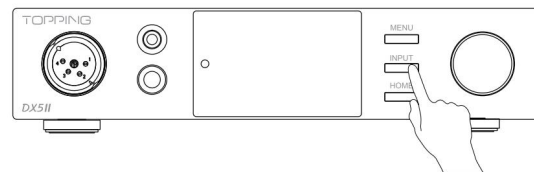
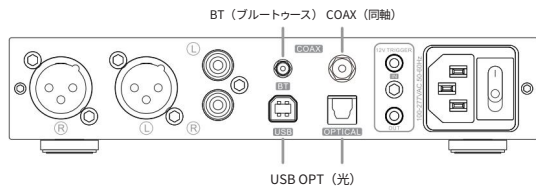
聴力を保護するために。

注: DACモードでは音量は0dBに固定されており、このモードでは音量調整は無効です。

モード。[設定メニュー-出力設定-ライン出力モード]



入力設定



1. 入力オプションの設定

本機は複数の入力チャンネルに対応しているため、入力チャンネルの切り替えに時間がかかる場合があります。効率化を図るため、[設定メニュー-入力設定-入力オプション]で、よく使用する入力チャンネルを事前に選択しておくことをお勧めします。これにより、入力ソースの切り替えにかかる時間を短縮できます。

システムは自動検出と手動の2つの設定方法をサポートしています。実際の使用状況に応じてどちらかを選択してください。

• 自動検出

システムは、各入力ポートで有効な信号が受信されているかどうかを自動的に検出します。有効な信号が検出されると、対応する入力チャンネルが入力オプションリストに追加されます。入力切り替え時には、これらのチャンネルが順番に選択されます。

• 手動（デフォルト）

使用したい入力チャンネルを手動で選択することもできます。選択すると、入力切り替え時に指定されたチャンネル間でのみ切り替えが行われます。

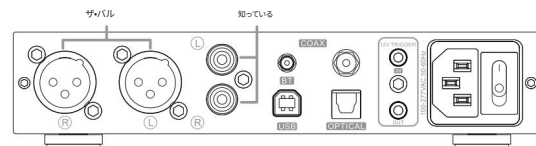
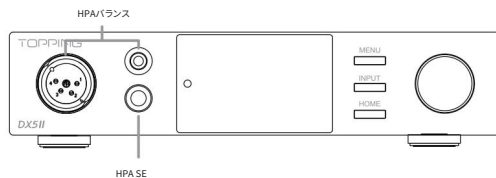
利用可能な入力チャンネルは次のとおりです。

- ☒ USB
- ☒ OPT（光学式）
- ☒ COAX（同軸）
- ☒ BT（Bluetooth）

2. 入力チャンネルの切り替え

入力オプションを設定したら、フロントパネルの INPUT ボタンを押すか、リモコンの ボタンを押して入力を循環的に切り替えることができます。

出力設定



1. 出力オプションの設定

本製品は複数の出力チャンネルに対応しているため、切り替えに時間がかかる場合があります。効率化を図るため、[設定]メニュー-出力設定-出力オプション]でよく使用する出力チャンネルを事前に選択しておくことをお勧めします。これにより、切り替えにかかる時間を短縮できます。

利用可能な出力チャンネルは次のとおりです。

- ☒ 全て
- ☒ HPA ALL (すべてのヘッドフォン出力)
- ☒ LO ALL (全ライン出力)
- ☐ HPA SE (6.35mmヘッドフォンジャック)
- ☐ HPA BAL (4.4mm/4ピンXLRヘッドフォンジャック)
- ☐ アイノウ (RCA)
- ☐ LOバランス (XLR)

2. 出力チャンネルの切り替え

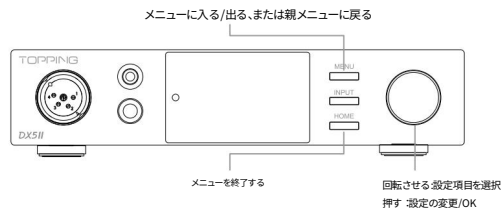
出力オプションを設定したら、フロントパネルのノブまたはリモコンのボタンを押して、出力を循環的に切り替えること押す *デ [] ことができます。

フォルトでは、ノブを押す機能は「出力選択」に設定されています。必要に応じて、[設定]-詳細-ノブを押す]でこの設定を変更できます。

7. セットアップメニュー

メニューに入り、設定を変更する

1. フロントパネルのボタン



2. リモコン



メニューの概要



1. ディスプレイ

1-1 テーマ

複数のオプションが利用可能、デフォルトは Aurora。

1-2 ホーム

ホームページを選択

通常（デフォルト）、VU.FFT

1-3 明るさ

低、中（デフォルト）、高、自動

自動は中と同じ明るさです。違いは、自動モードでは30秒間操作が行われないと

画面が自動的にオフになり、現在の入力内容のみが表示される点です。いず

れかのボタンを押すと画面が点灯します。



USB

1-4 クラシック VU 0dB

VUメーターの0dB基準電圧を設定します。例えば+4dBuに設定した場合、指針が0dBを指しているとき、DX5

IIの現在の出力レベルは+4dBuです。+4dBu（デフォルト）、+10dBu

1-5 レベルメーター

すべてオン（デフォルト）、通常ページ、FFTページ、すべてオフ

2. 入力設定

2-1 入力選択

USB(デフォルト)/入力オプション

2-2 入力オプション

デバイスは複数の入力チャンネルをサポートしているため、それらの切り替えは少し時間がかかります。効率を上げるために、事前に選択することをお勧めします。よく使う入力チャンネルを[設定メニュー-入力設定-入力オプション]で設定します。入力ソースの切り替えにかかる時間を短縮できます。

システムは自動検出と手動の2つの設定方法をサポートしています。

実際の使用ニーズに応じてどちらかを選択できます。

- 自動検出

システムは、各時点で有効な信号を受信したかどうかを自動的に検出します。

入力ポート。有効な信号が検出されると、対応する入力チャンネルが入力オプションリストに追加されました。入力切り替え中は、システムはこれらのチャネルを通じて。

- 手動（デフォルト）

使用する入力チャンネルを手動で選択することもできます。

選択すると、システムは指定されたチャンネル間のみ切り替えます。

入力切り替え。

利用可能な入力チャンネルは次のとおりです。

☒ USB

☒ OPT（光学式）

☒ COAX（同軸）

☒ BT（ブルートゥース）

2-3 UAC

UAC2.0 (デフォルト)、UAC1.0

2-4 Bluetooth

有効 (デフォルト)、無効

2-5 Bluetooth aptX

有効 (デフォルト)、無効

DX5 IIIは複数のBluetoothコーデックをサポートしています。オフに設定すると、APT-X

Adaptiveが無効になり、他のコーデック (お使いの携帯電話によって異なります)が使用できるようになります。

3.出力設定

3-1 出力選択

ALL (デフォルト)/出力オプション

3-2 出力オプション

デバイスは複数の出力チャンネルをサポートしているため、それらの切り替えは時間がかかる場合があります。効率を上げるために、

[設定メニュー-出力設定-出力-

[プットオプション]を使用すると、切り替えに必要な時間が短縮されます。

利用可能な出力チャンネルは次のとおりです。

☒ 全て

☒ HPA ALL (すべてのヘッドフォン出力)

☒ LO ALL (全ライン出力)

☐ HPA SE (6.35mmヘッドフォンジャック)

☐ HPA BAL (4.4mm/4ピンXLRヘッドフォンジャック)

☐ アイノウ (RCA)

☐ LOバランス (XLR)

3-3 PCMフィルター

F-1 :最小位相 (デフォルト)

F-2 :リニア位相高速ロールオフアポダイジング

F-3 :リニアフェーズ高速ロールオフ

F-4 :リニアフェーズ、高速ロールオフ、低リップル

F-5 :リニアフェーズスローロールオフ

F-6 :最小位相高速ロールオフ

F-7 :最小位相スローロールオフ

F-8 :最小位相、スローロールオフ、低分散

3-4 ゲイン (ヘッドフォンゲイン)

低 (デフォルト) 、高

3-5 チャンネルバランス

設定範囲 :C (バランス) 、L+0.5〜9.5dB、またはR+0.5〜9.5dB。(デフォルト :C)

※フロントパネルのノブを使用する場合は、ノブを押して設定に入り、ノブを回して値を設定し、もう一度ノブを押すと設定を終了します。

3-6 ボリュームステップ

0.5dB (デフォルト) 、1dB

3-7 極性

通常 (デフォルト) 、逆

3-8 ライン出力モード

プリアンプ :音量を調整できます。(デフォルト)

DAC: 最大音量出力を維持し、音量は調整できません。

注: DAC モードは、ライン出力のみが機能している場合にのみ有効になります。

4. PEQ設定

4-1 PEQ

有効 (デフォルト) 、無効

PEQサポート範囲	
USB入力	44.1kHz〜192kHz/16ビット〜32ビット
同軸/オプトイン	44.1kHz〜192kHz/16ビット〜24ビット
BTイン	44.1kHz〜96kHz/16ビット〜24ビット

4-2 PEQ選択

ユーザーが選択できる 5 つのデフォルトのプリセット構成が用意されています。

これらのデフォルトのプリセット設定は変更できないことに注意してください。

さらに、DX5 IIIに5つのカスタム設定を保存することができます。

Topping Tuneソフトウェア、DX5 IIIはこれらの設定をオフラインで使用できます。

5. 上級

5-1 オン/オフトリガー

信号: 入力信号によってデバイスがオンになりますが、現在の入力

1分以内に接続されていないか、入力信号が無効になると、自動的に

スタンバイ状態になります。有効な信号を検出すると、自動的に動作状態に戻ります。(デフォルト)

12V: 12V信号はデバイスの電源をオンにします。DX5 IIのトリガー入力

他のデバイスの12Vトリガー出力に接続、DX5 IIのオン/スタンバイ状態

このデバイスから制御できます。DX5 IIIはスタンバイ状態のままです

トリガー入力0Vから12Vへの信号の変化を検出するまで、この状態を維持します。

0Vに戻すと、DX5 IIはスタンバイ状態に戻ります。

オフ: この機能を無効にします。

5-2 ボリュームメモリ

出力追従: 各出力チャンネルの音量を最後に変更したときの音量を記憶します。

使用済み。次回そのチャンネルを使用するとき、音量は自動的に前回使用時の音量

(デフォルト)に戻ります。

入力に従う: 各入力チャンネルの音量を最後に変更したときの音量を記憶します。

使用済み。次回そのチャンネルを使用するときには、音量は

最後に使用した時の音量に自動的に戻ります。

無効: この機能を無効にします。

5-3 PEQメモリ

出力のフォロー: 各チャンネルごとに最後に使用したPEQ設定を記憶します。

出力チャンネルに設定され、次回同じ出力チャンネルが使用されるときに自動的にその構成に切り替わります (デフォルト)。

入力追従: 各入力に対して最後に使用したPEQ設定を記憶します

チャンネルに設定され、次回同じ入力チャンネルが使用されるときに自動的にその構成に切り替わります。

無効: この機能を無効にします。

5-4 リモート

有効 (デフォルト)、無効

5-5 ノブを押す

ブレスノブの機能をカスタマイズします。

出力選択 (デフォルト)、ホーム選択、明るさ、画面の暗転、ミュート、PEQ選択、オン/オフトリガー、PCMフィルター、ゲイン、PEQスイッチ、入力選択

5-6 ボタンA

リモコンボタンAのカスタマイズ可能な機能

出力選択、ホーム選択、明るさ、画面の暗転、ミュート、

PEQ選択 (デフォルト)、オン/オフトリガー、PCMフィルター、ゲイン、PEQスイッチ、

入力選択

5-7 ボタンB

リモコンボタンBのカスタマイズ可能な機能

出力選択、ホーム選択、明るさ、画面の暗転、ミュート、

PEQ選択、オン/オフトリガー、PCMフィルター、ゲイン、PEQスイッチ、

入力選択 (デフォルト)

6. 言語

英語、中国語

7. 工場出荷時設定にリセット

工場出荷時設定へのリセットを選択するとポップアップが表示されるので、はい/いいえ（色で選択）を選択します。
次に、リモコンの中央のボタンまたは前面パネルのノブを押して確定します。

8. トラブルシューティング

使用中に問題が発生した場合は、次のリンクから対応する解決策を見つけてください。

<https://www.toppingaudio.com/faq>

検索方法 Windows OSではCtrlキーとFキー（Mac OSではCommandキーとFキー）を押して検索を開始します。デバイスモデルを入力すると、そのデバイスのFAQにジャンプします。

それでも問題や質問がある場合は、service@tpdz.net までご連絡ください。

9. 注意事項

1. 高温多湿の場所に保管したり、強い衝撃を与えたりしないでください。
2. ケースを開けると保証は無効になります。
3. 屋内使用のみ。
4. Toppingは、直接的または間接的に生じた損失または損害について一切の責任を負いません。
DX5 II の故障から。
5. 改良のため、仕様は予告なく変更されることがあります。
知らせ。

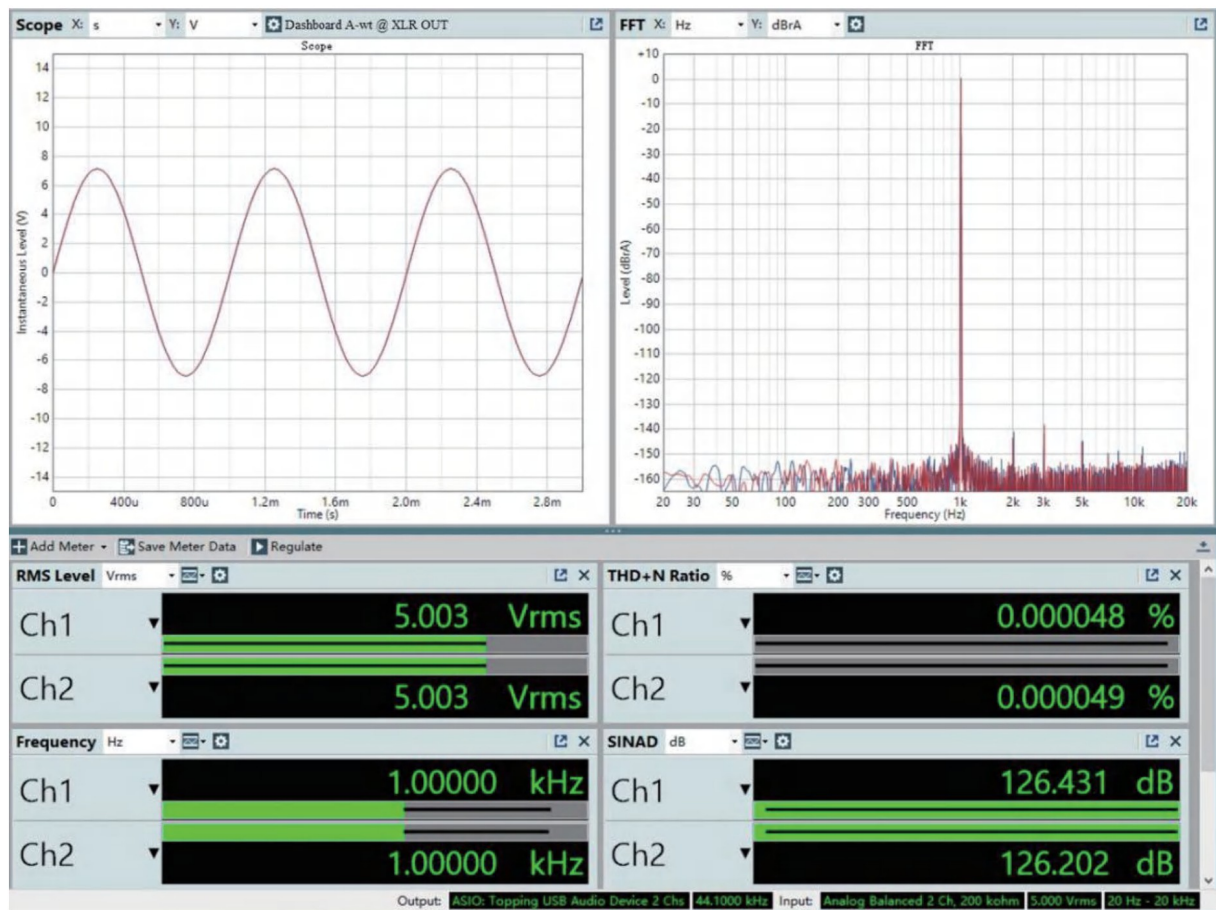
10.仕様

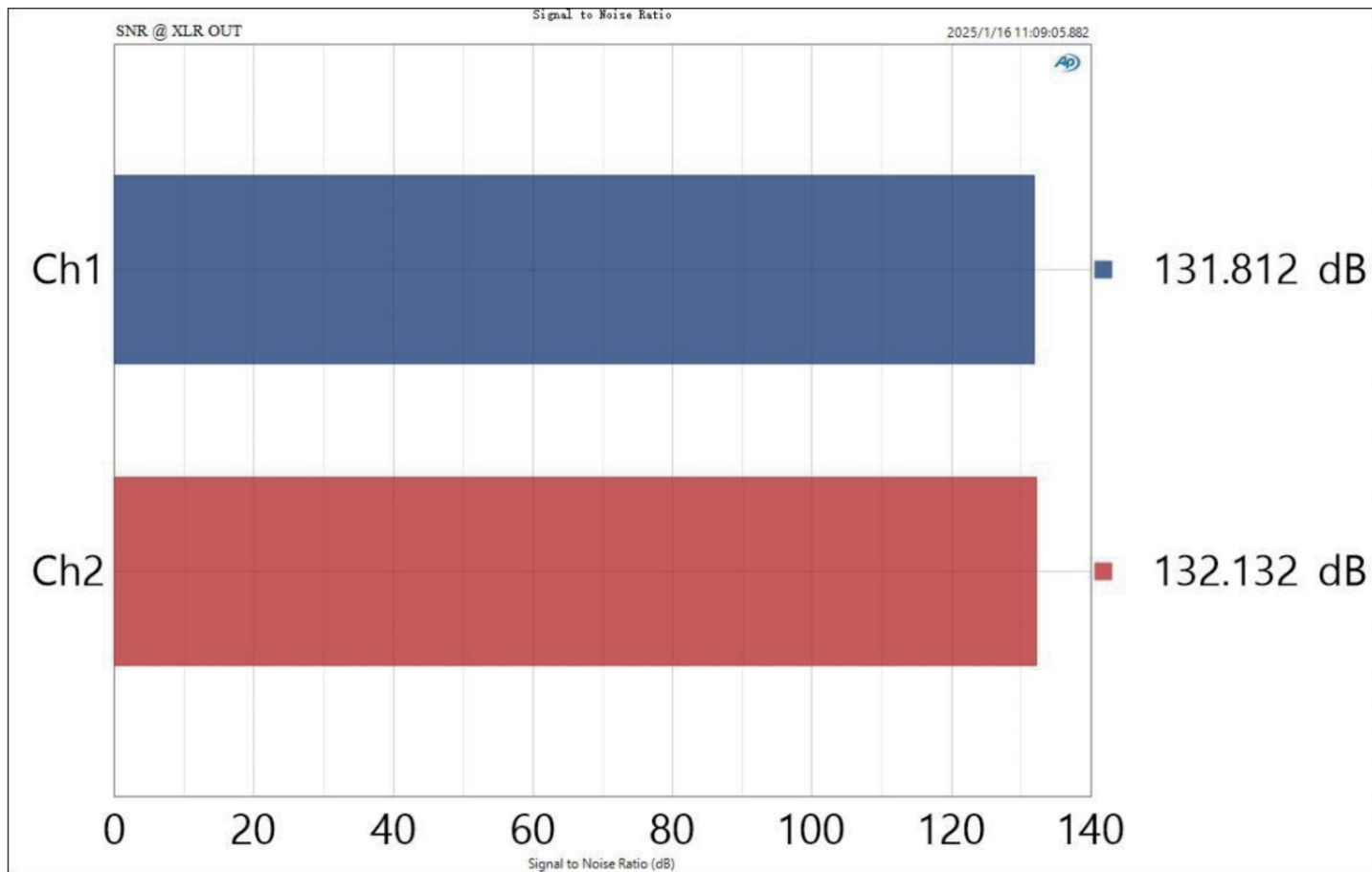
DX5 II DACパラメータ (ライン出力/USB入力@96kHz)		
	RCA	XLR
THD+N @ 1kHz (A-wt)	<0.00008%	<0.00006%
THD @ 20-20kHz 90kBw	<0.0005%	<0.00015%
SNR @ 1kHz (A-wt)	128デシベル	132デシベル
ダイナミックレンジ @ 1kHz (A-wt)	128デシベル	132デシベル
周波数応答	20Hz~20kHz (±0.3dB)	20Hz~20kHz (±0.3dB)
	20Hz~40kHz (±1.0dB)	20Hz~40kHz (±1.0dB)
出力レベル	2.5Vrms @0dBFS	5.0Vrms @0dBFS
ノイズ@A-wt	<1.1uVrms	<1.3uVrms
チャネルクロストーク	-135dB @1kHz	-147dB @1kHz
チャンネルバランス	0.3 dB	0.3 dB
出力インピーダンス	50Ω	100Ω

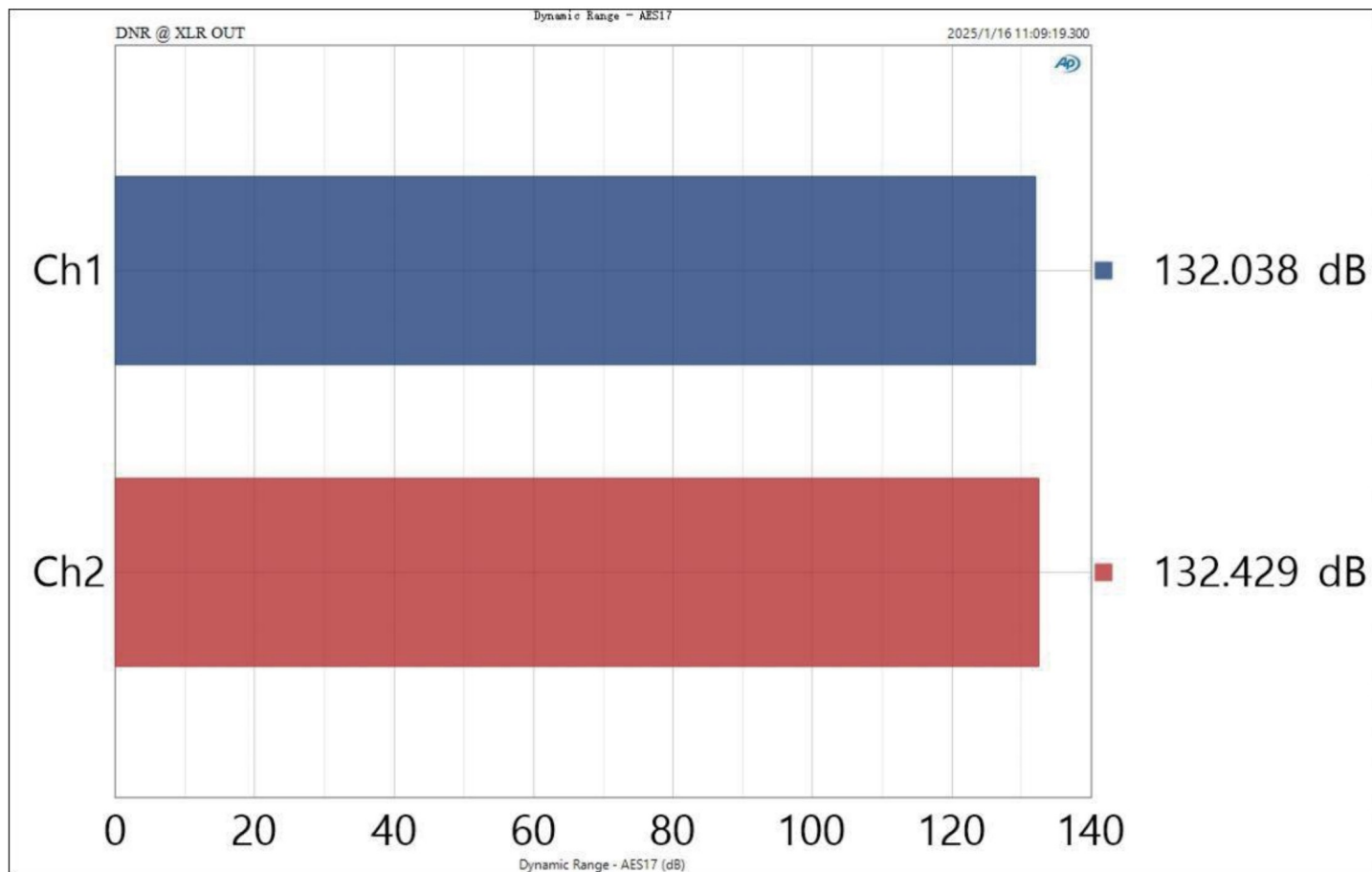
*注: 上記のデータは、TOPPING 研究所で AC220V 50Hz の条件下でテストした結果です。

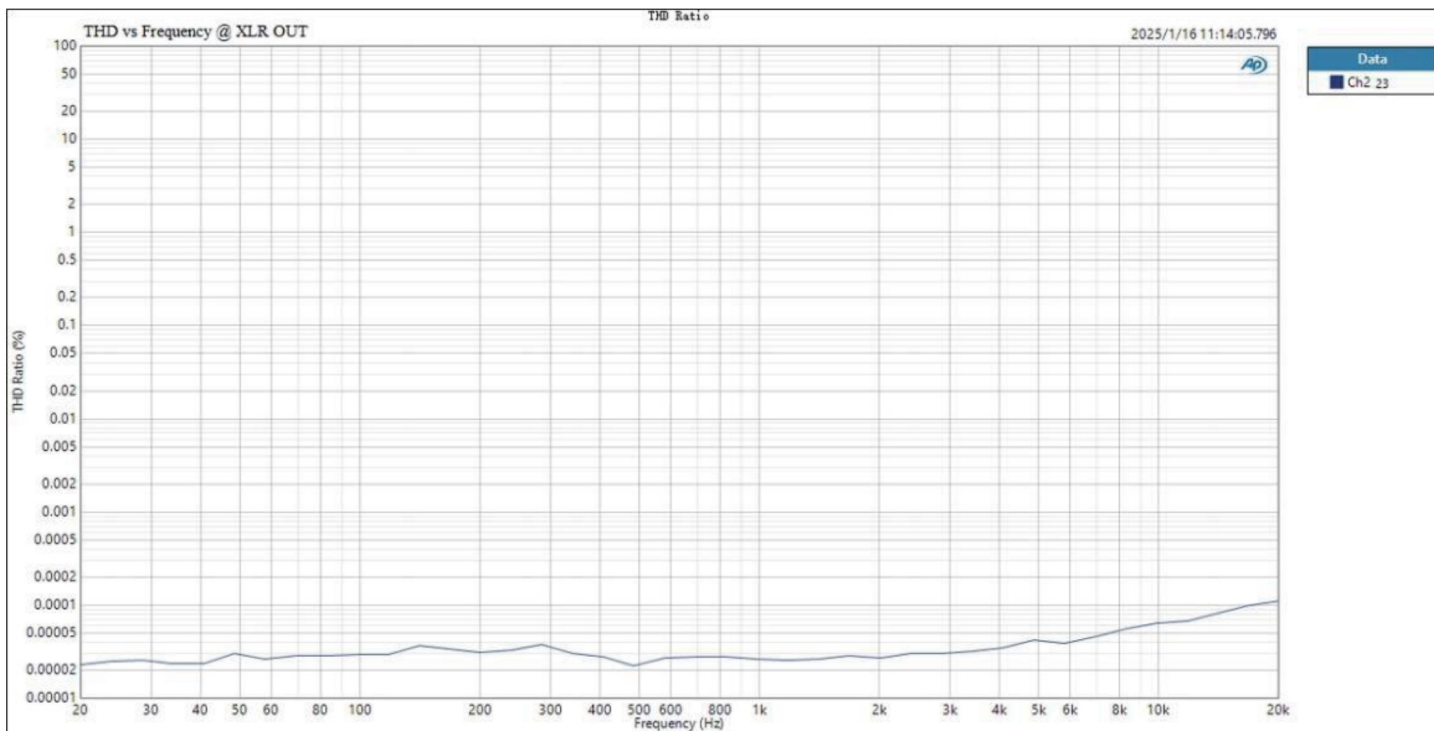
DXS II ヘッドフォンアンプ仕様 (USB入力@96kHz)		
	6.35mmヘッドフォンジャック	4.4mm/4ピンXLRヘッドフォンジャック
THD+N @1kHz(A-wt)	出力200mW(32Ω)で0.00008%未満	出力850mW (32Ω)で0.00008%未満
	<0.00007% @出力=22mW(300Ω)	出力90mW (300Ω)で0.00007%未満
THD @20-20kHz(45kHz)	出力200mW(32Ω)で0.00060%未満	<0.00050% @出力=850mW(32Ω)
	<0.00050% @出力=22mW(300Ω)	<0.00050% @出力=90mW (300Ω)
SNR @最大出力 1kHz(A-wt)	131dB @1kHz	1kHzで133dB
ダイナミックレンジ @1kHz(A-wt)	131dB @1kHz	1kHzで133dB
周波数応答	20Hz~20kHz (±0.3dB)	20Hz~20kHz (±0.3dB)
	20Hz~40kHz (±1.0dB)	20Hz~40kHz (±1.0dB)
出力レベル	7.2Vpp @G=L	15.0Vpp @G=L
	24.2Vpp @G=H	48.0Vpp @G=H
ノイズ(A-wt)	<1.1uVrms @G=L	<1.6uVrms @G=L
	<2.5uVrms @G=H	<4.3uVrms @G=H
チャンネルクロストーク	-127dB @1kHz	-143dB @1kHz
得	G=L 8.6dB(Vrms/FS)	G=L 14.6dB(Vrms/FS)
	G=H 18.7dB(Vrms/FS)	G=H 24.7dB(Vrms/FS)
チャンネルバランス	0.3 dB	0.3 dB
出力インピーダンス	<0.1Ω	<0.1Ω
出力電力	3300mW x 2 @16Ω THD+N<1%	7600mW x 2 @16Ω THD+N<1%
	2200mW x 2 @32Ω THD+N<1%	6400mW x 2 @32Ω THD+N<1%
	1160mW x 2 @64Ω THD+N<1%	4300mW x 2 @64Ω THD+N<1%
	250mW x 2 @300Ω THD+N<1%	990mW x 2 @300Ω THD+N<1%
	120mW x 2 @600Ω THD+N<1%	490mW x 2 @600Ω THD+N<1%
負荷インピーダンス	>8Ω	>8Ω

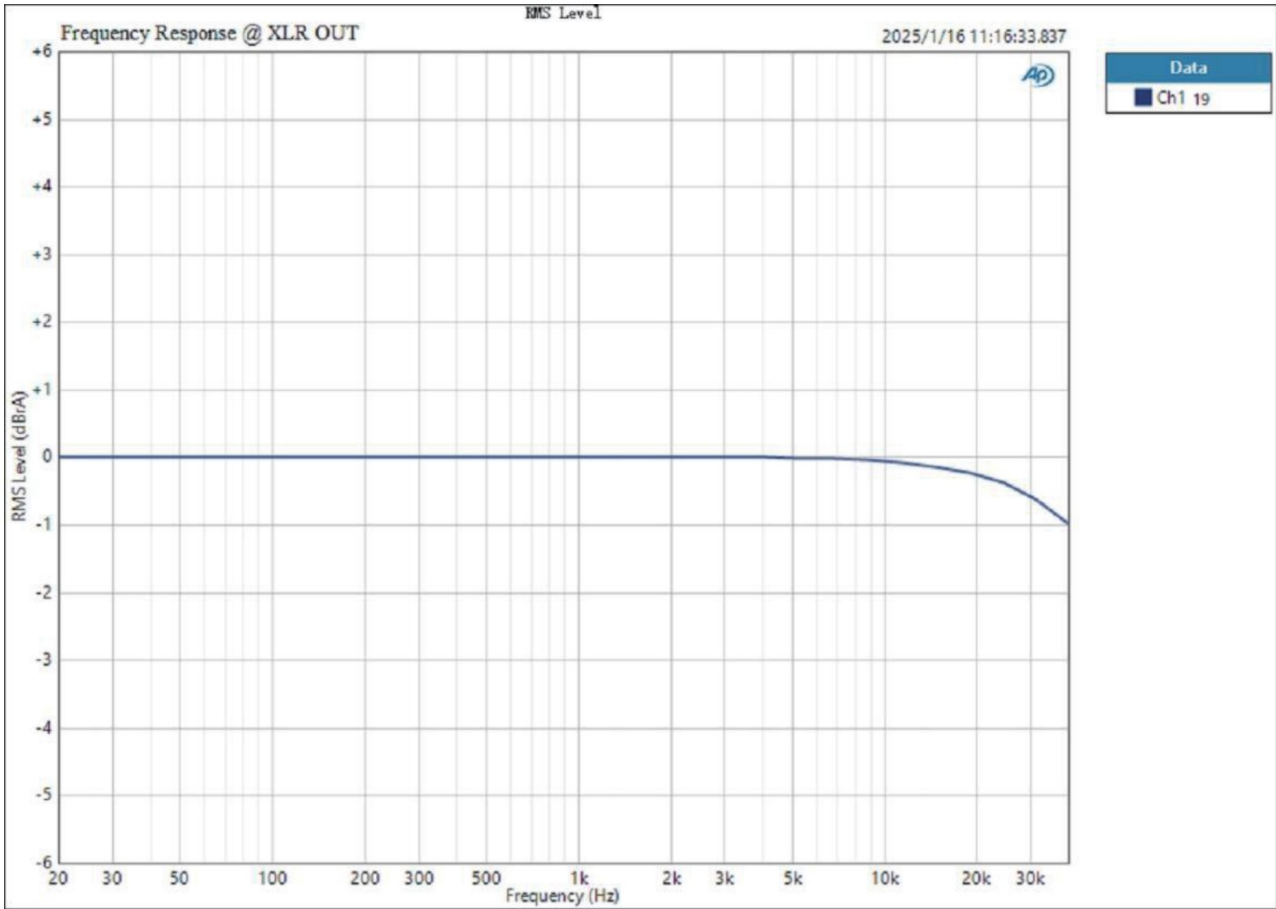
*注: 上記のデータは、TOPPING 研究所で AC220V 50Hz の条件下でテストした結果です。

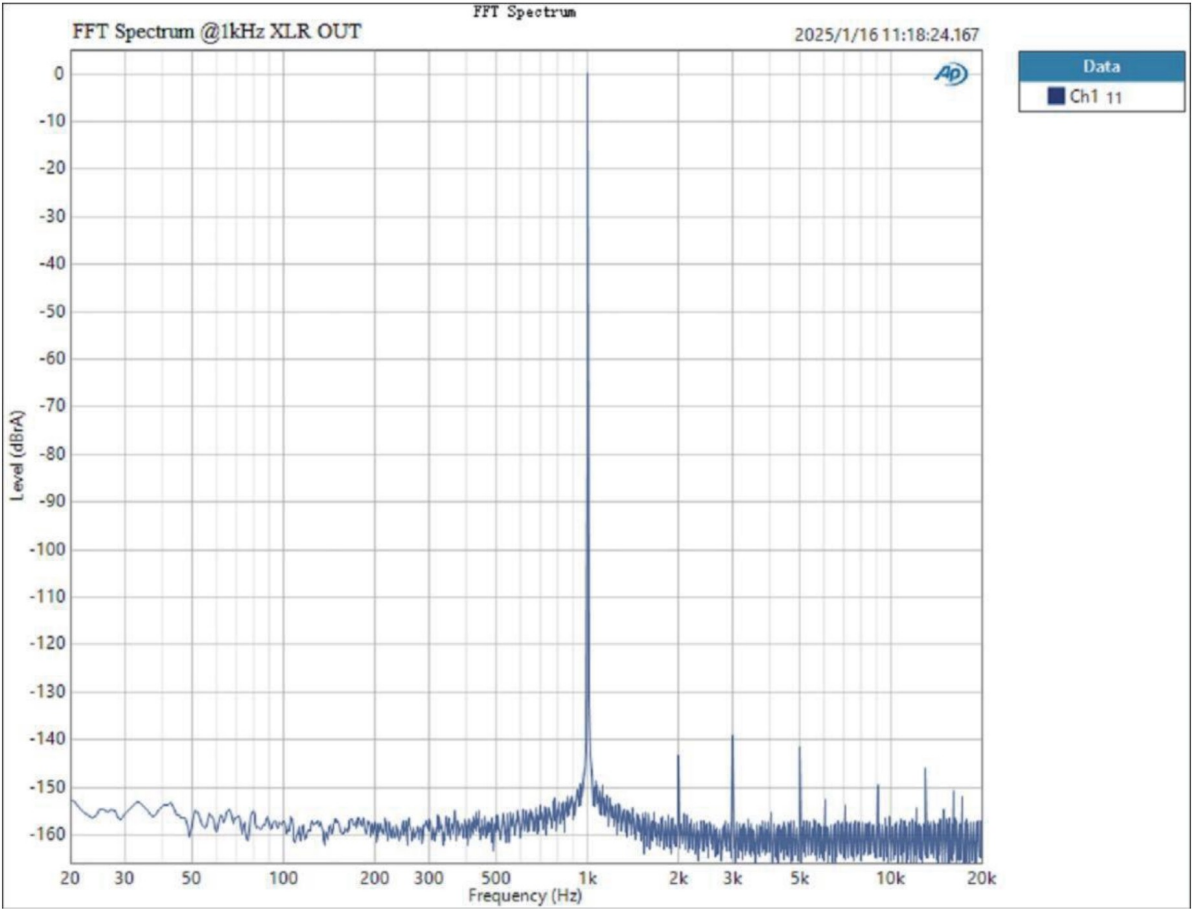


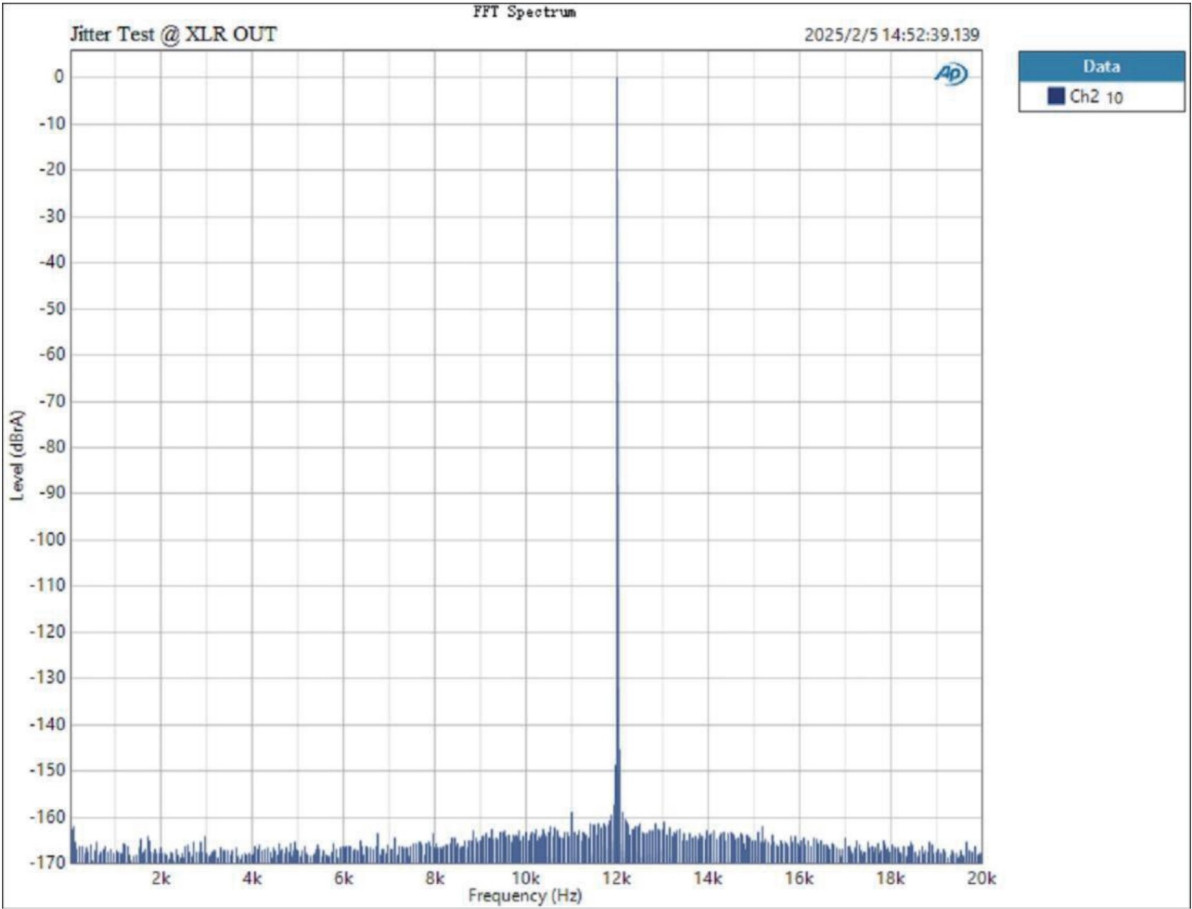


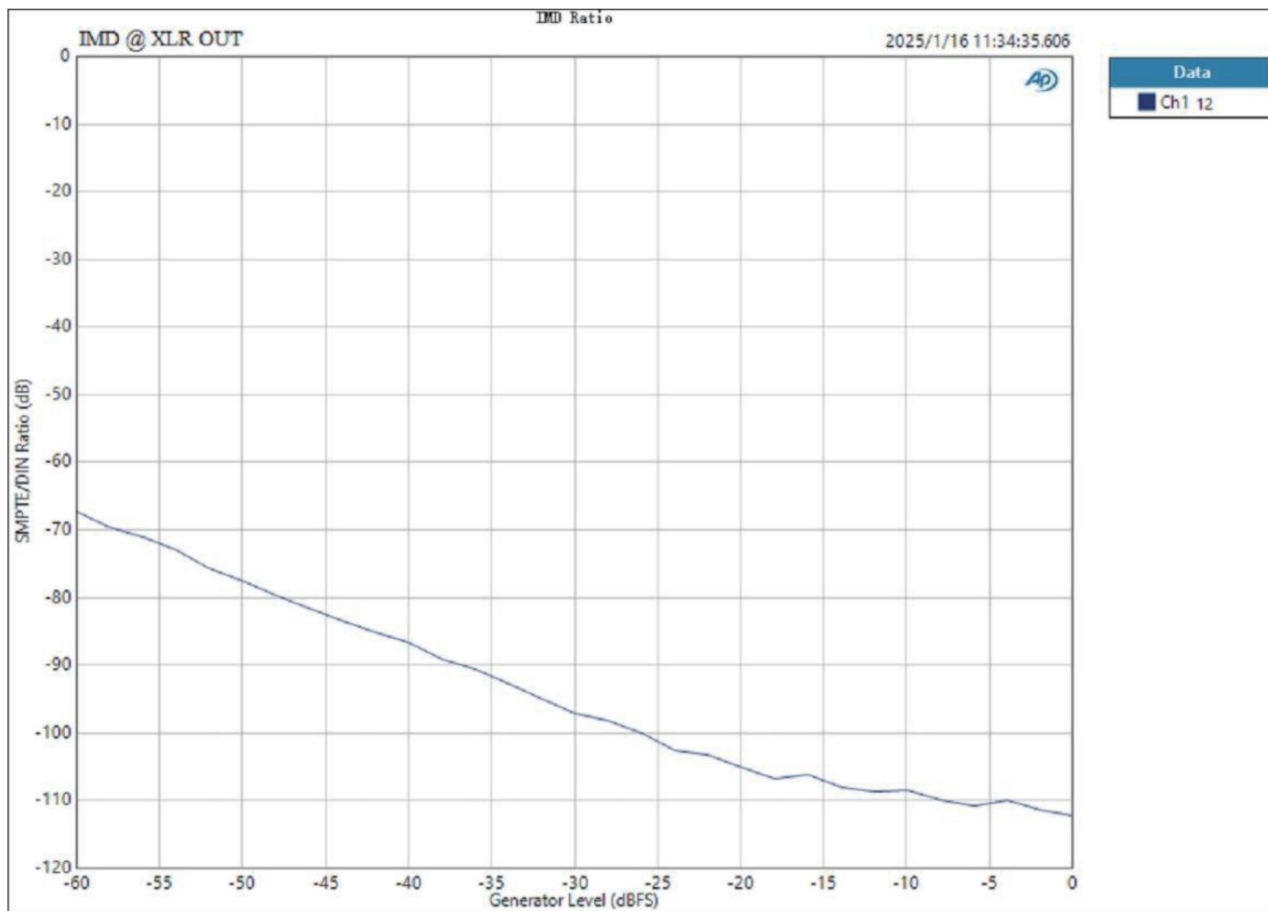


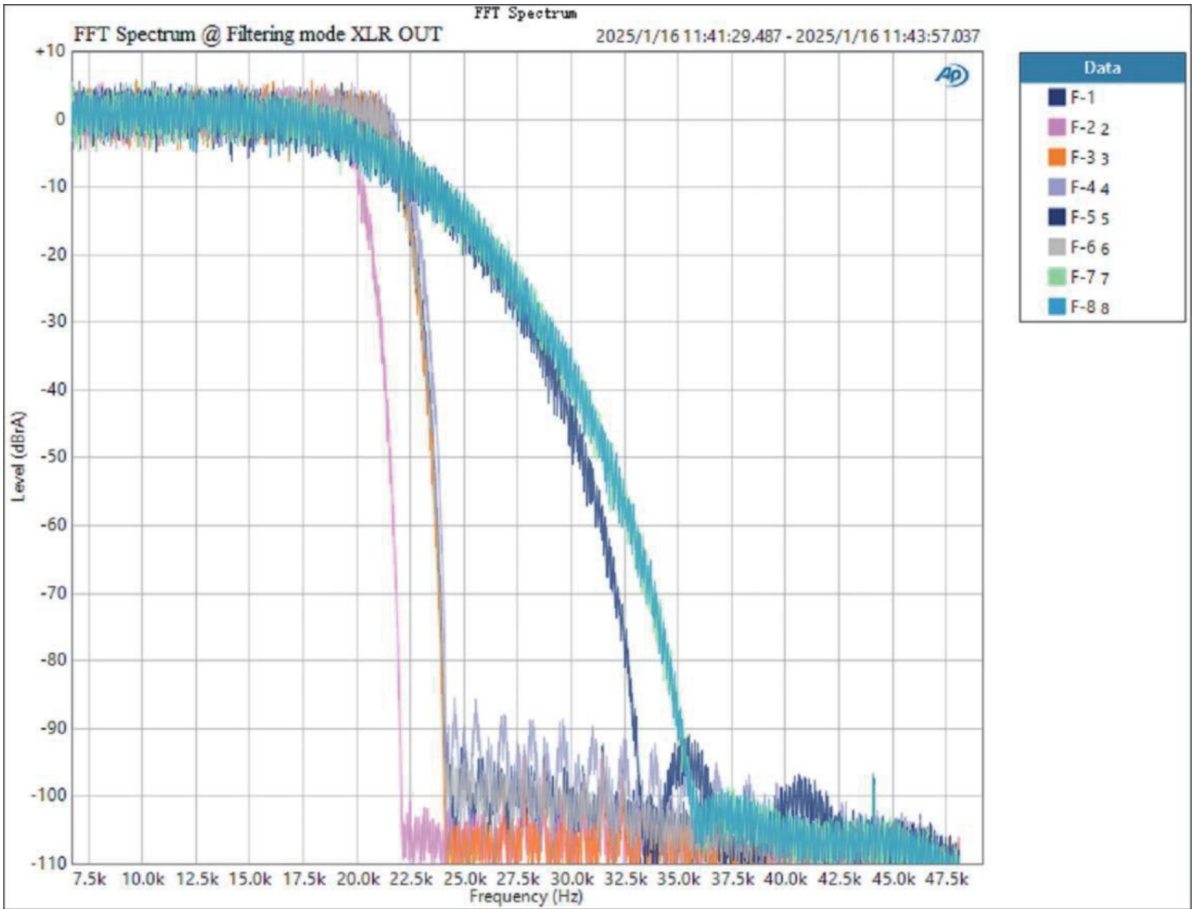


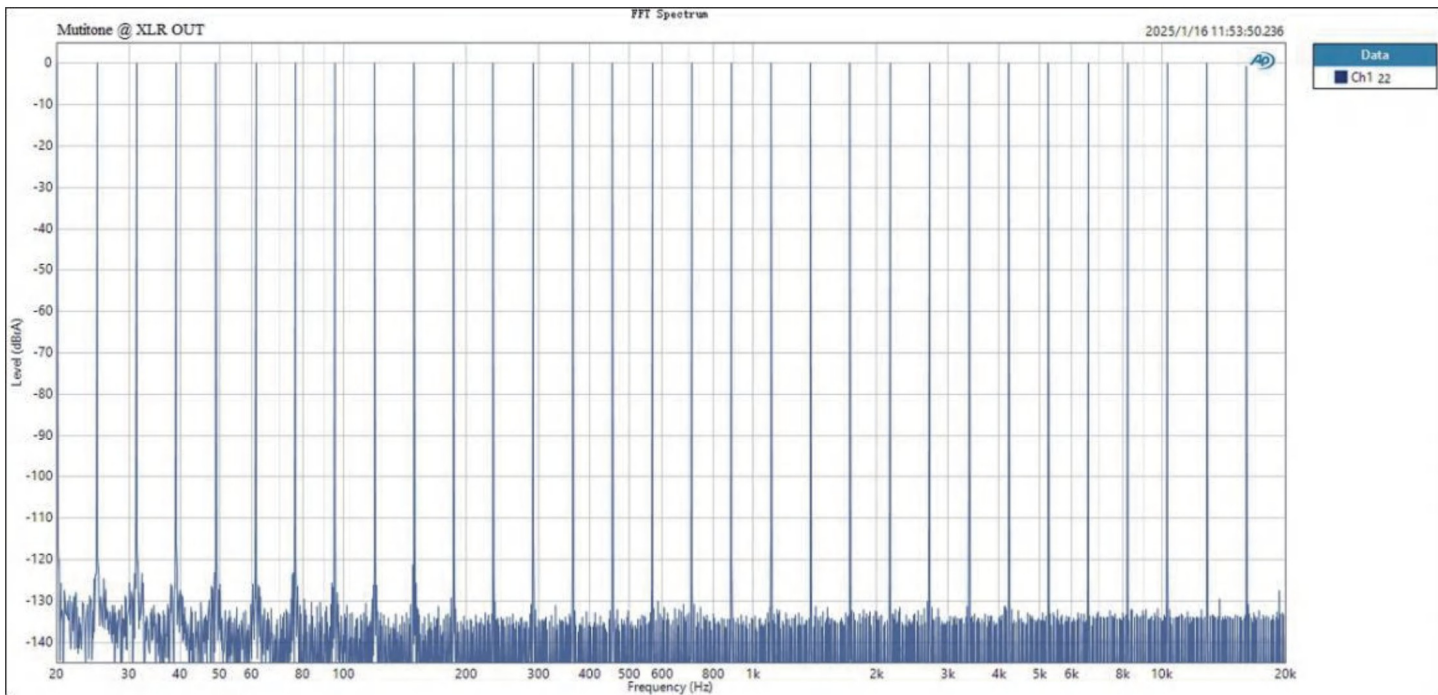


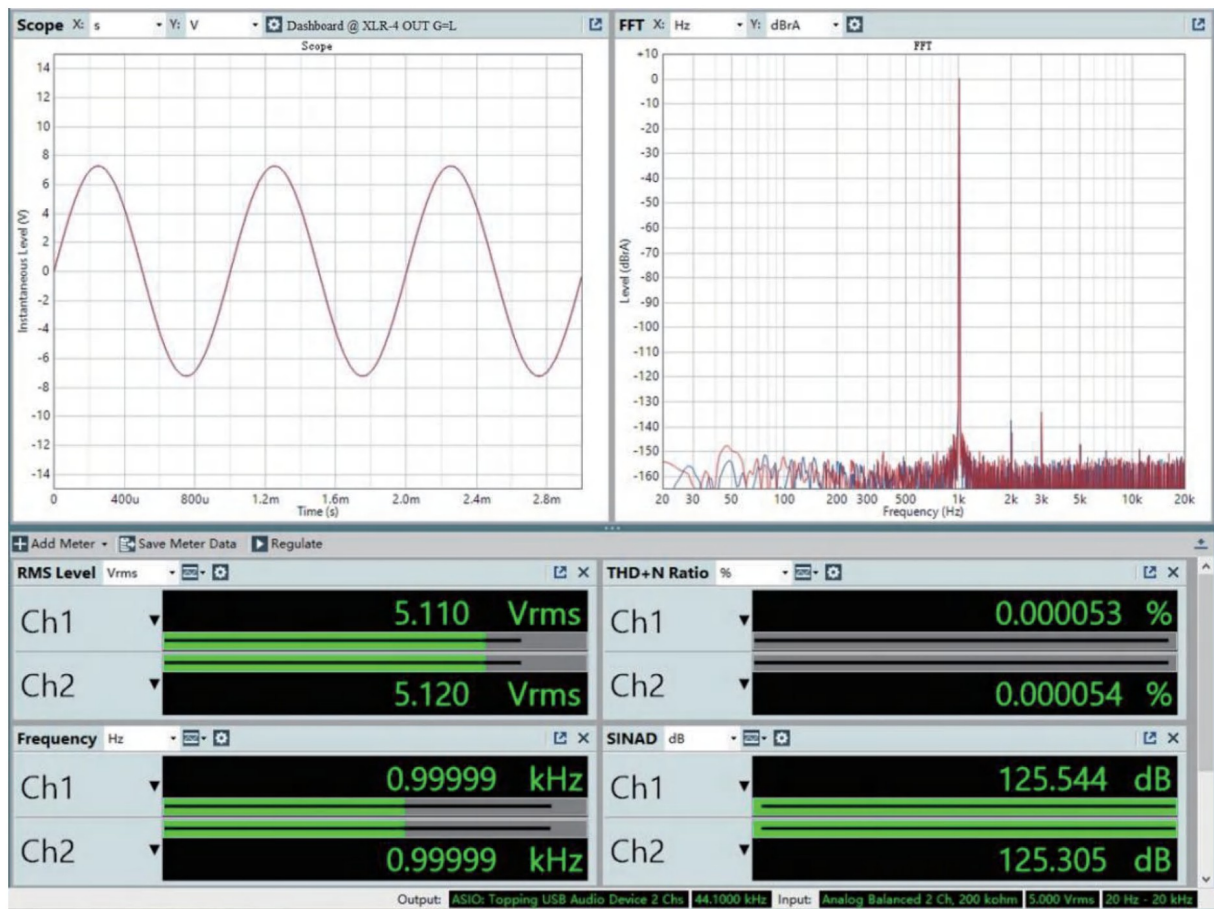


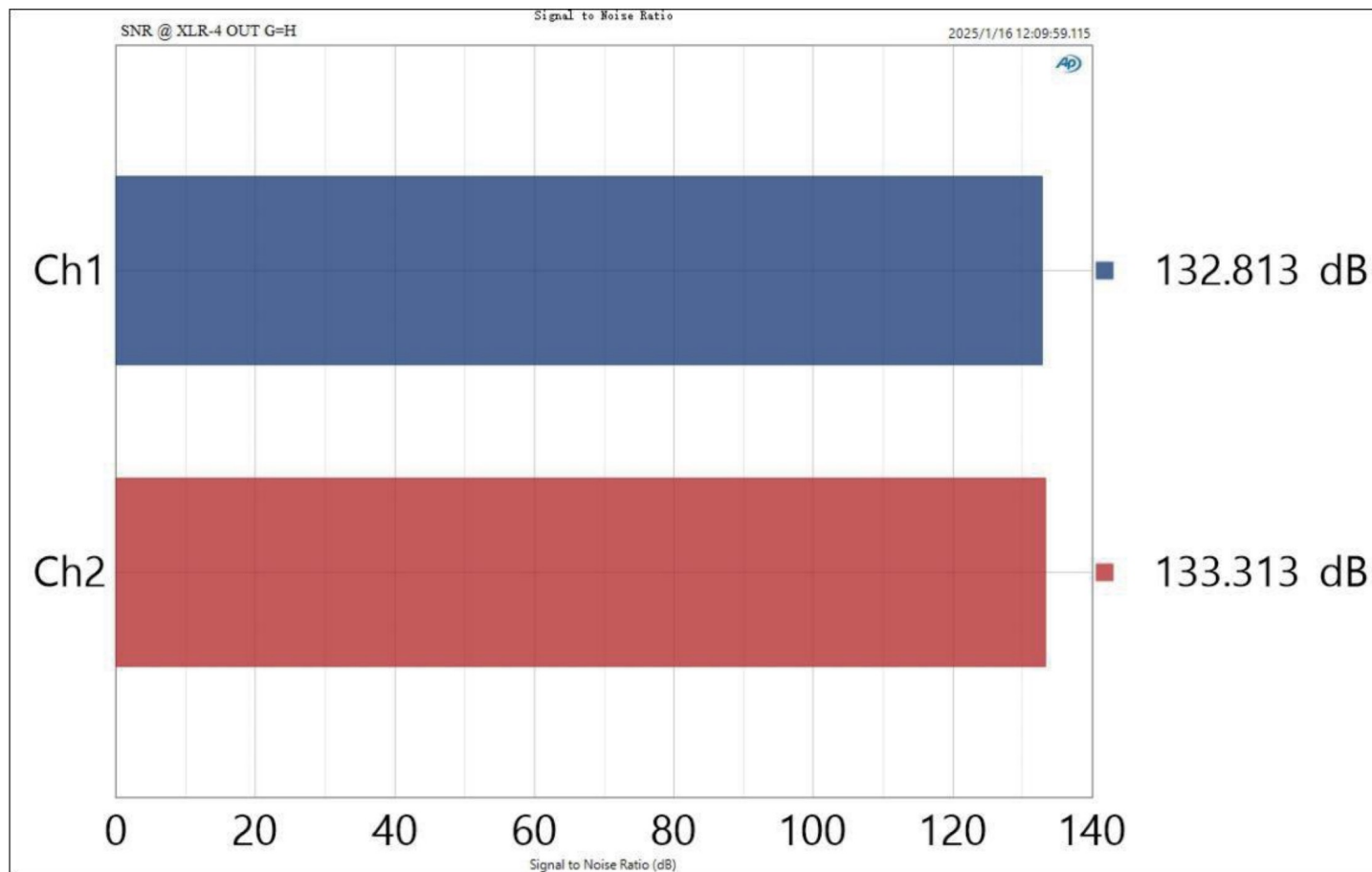


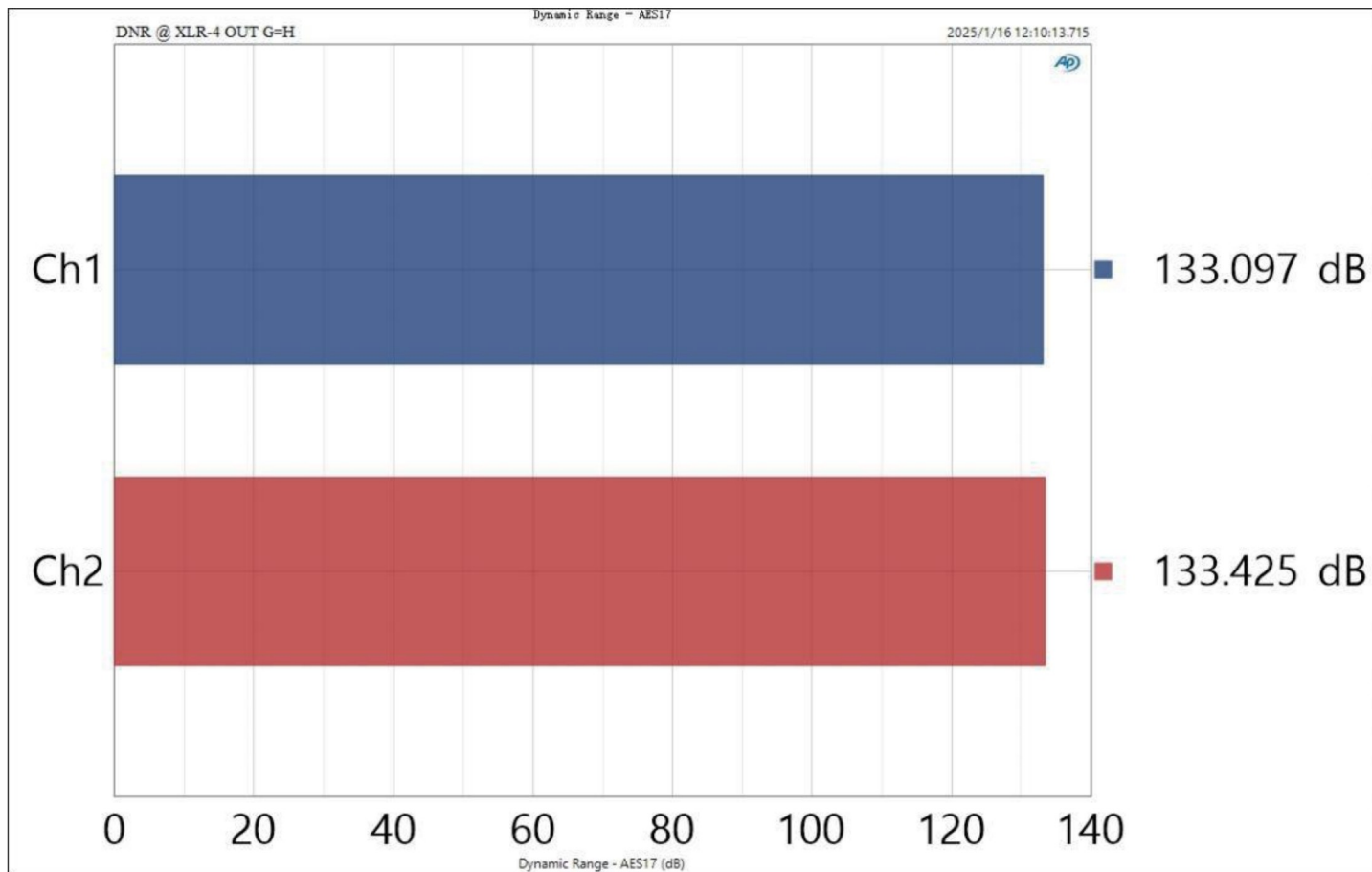


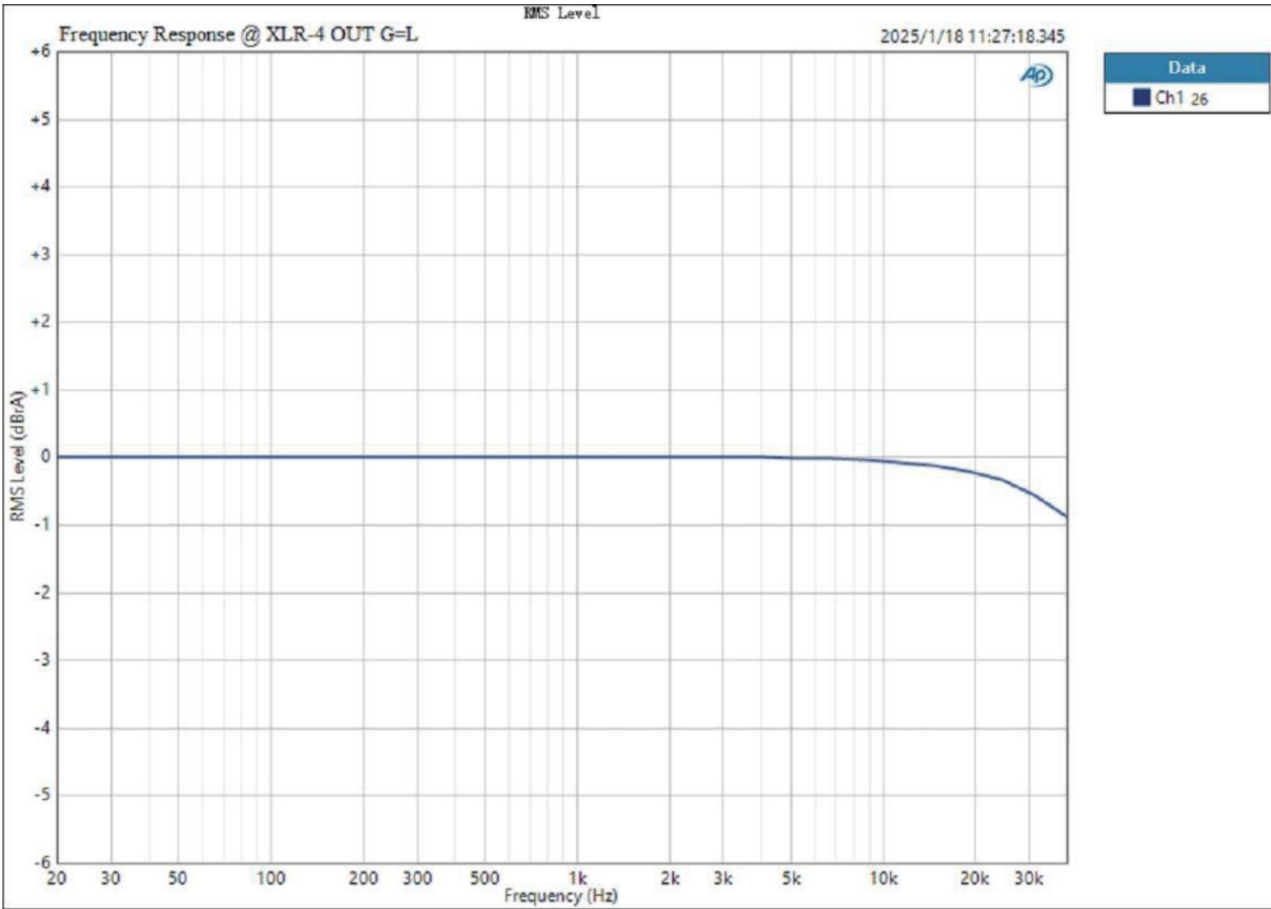


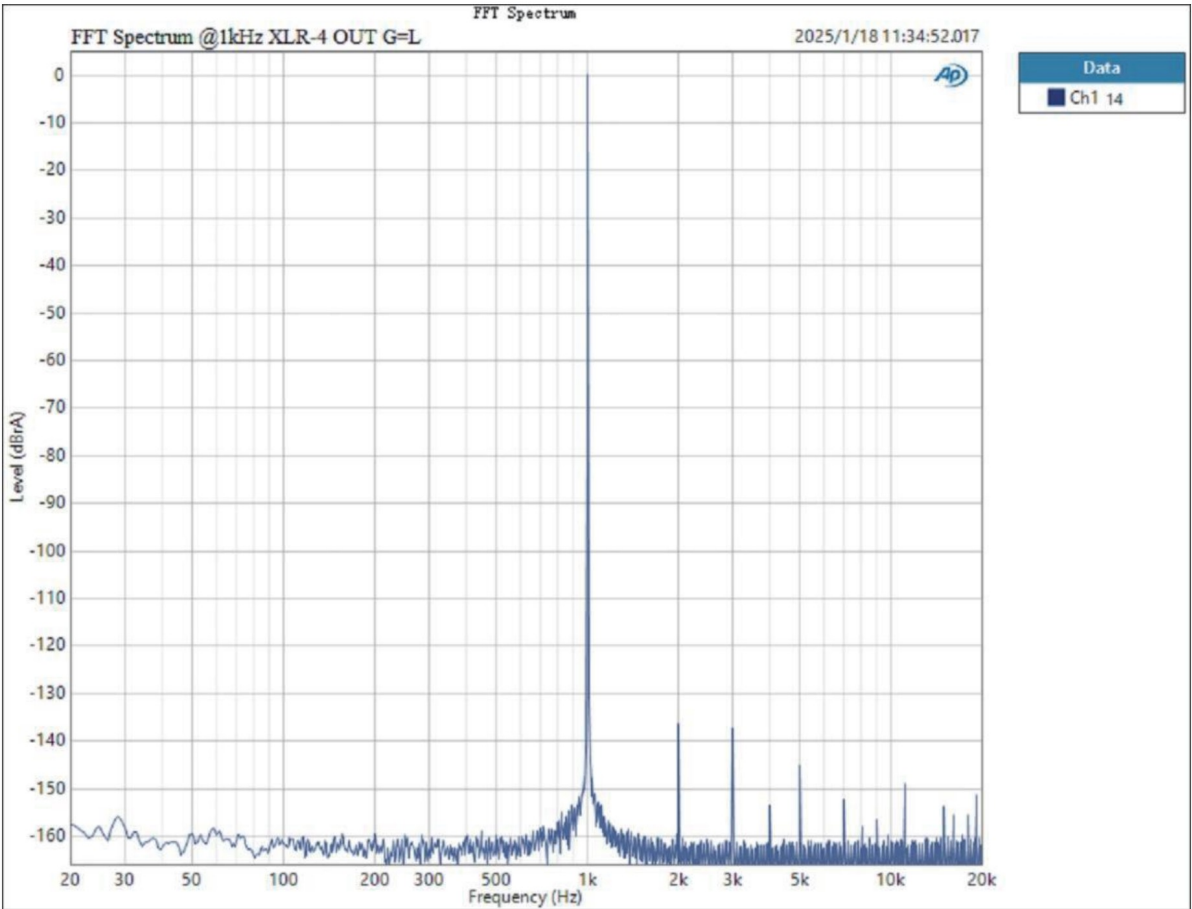


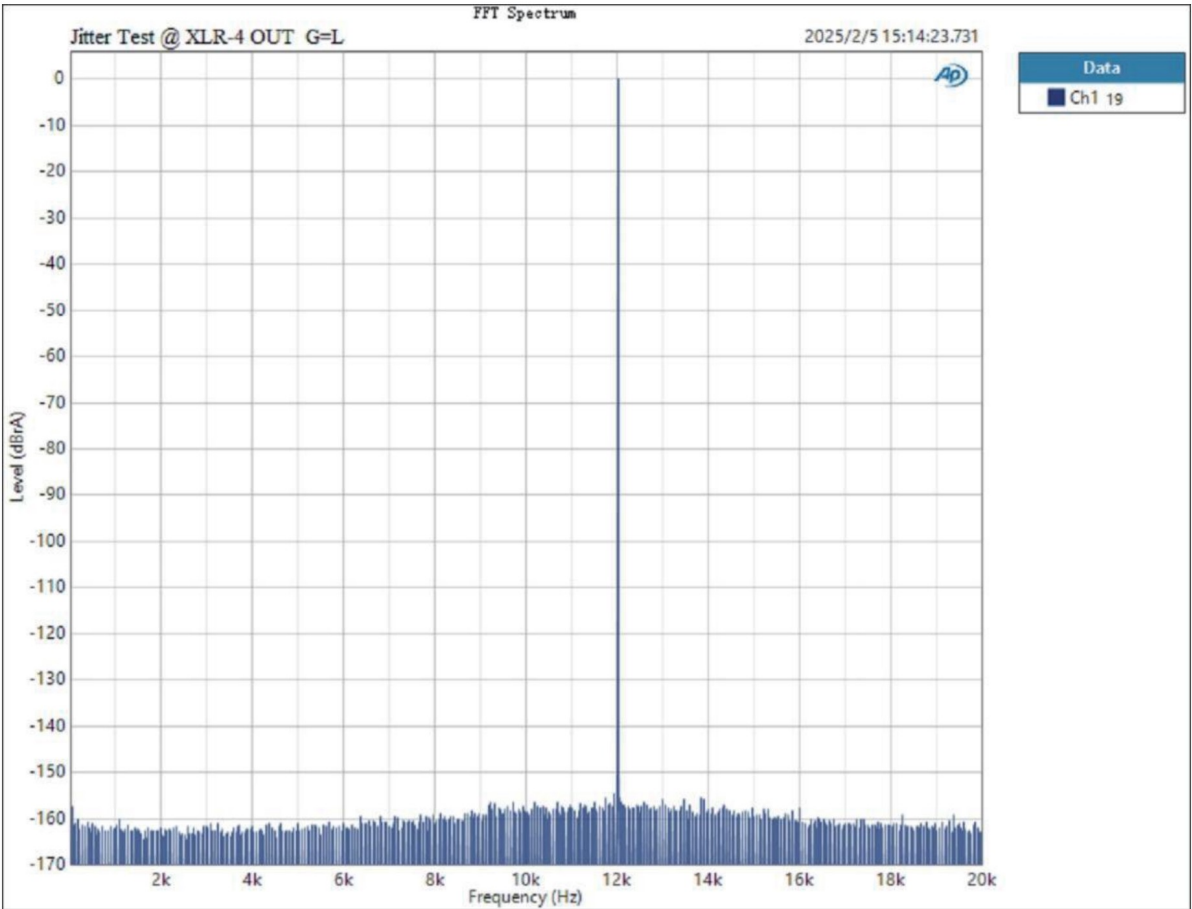


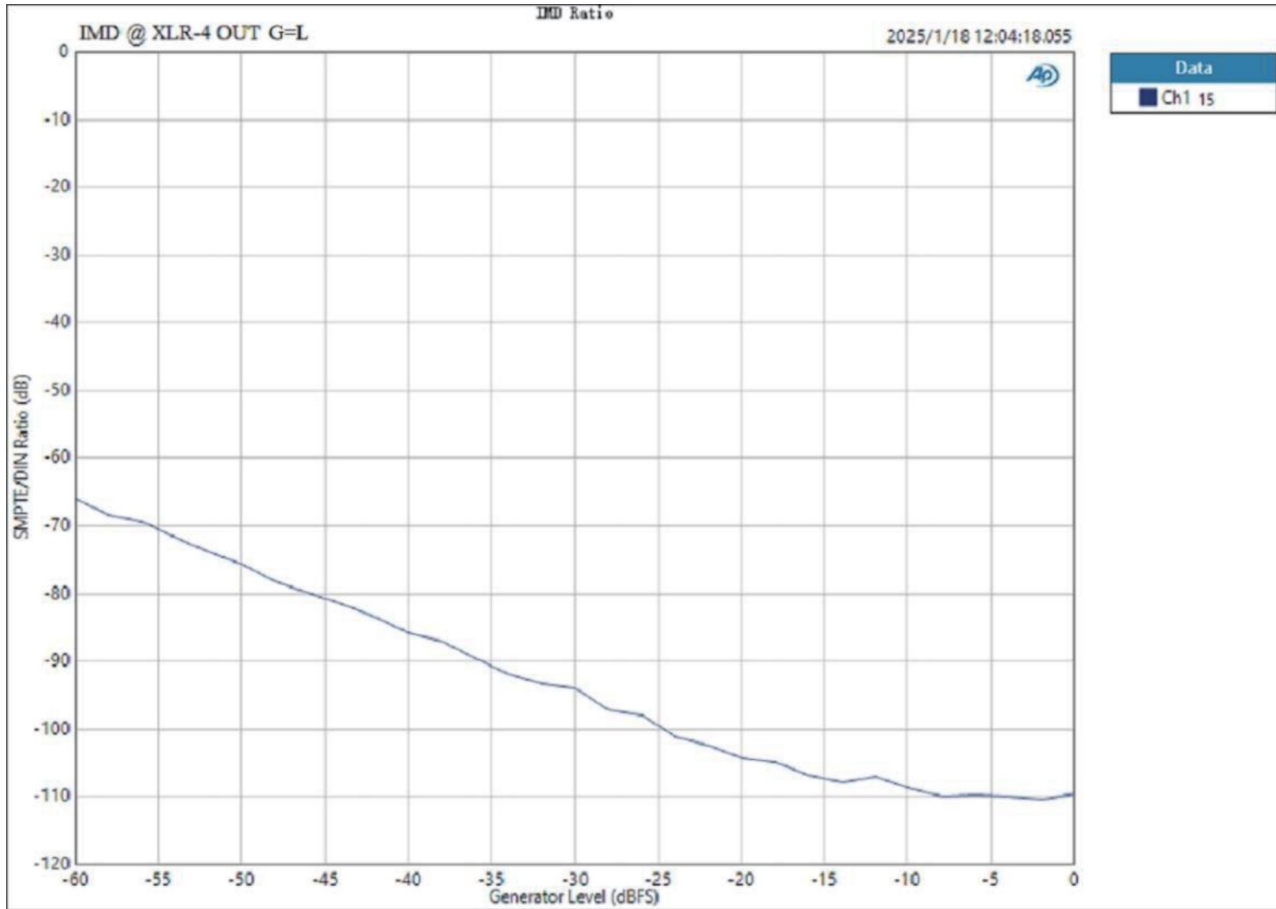


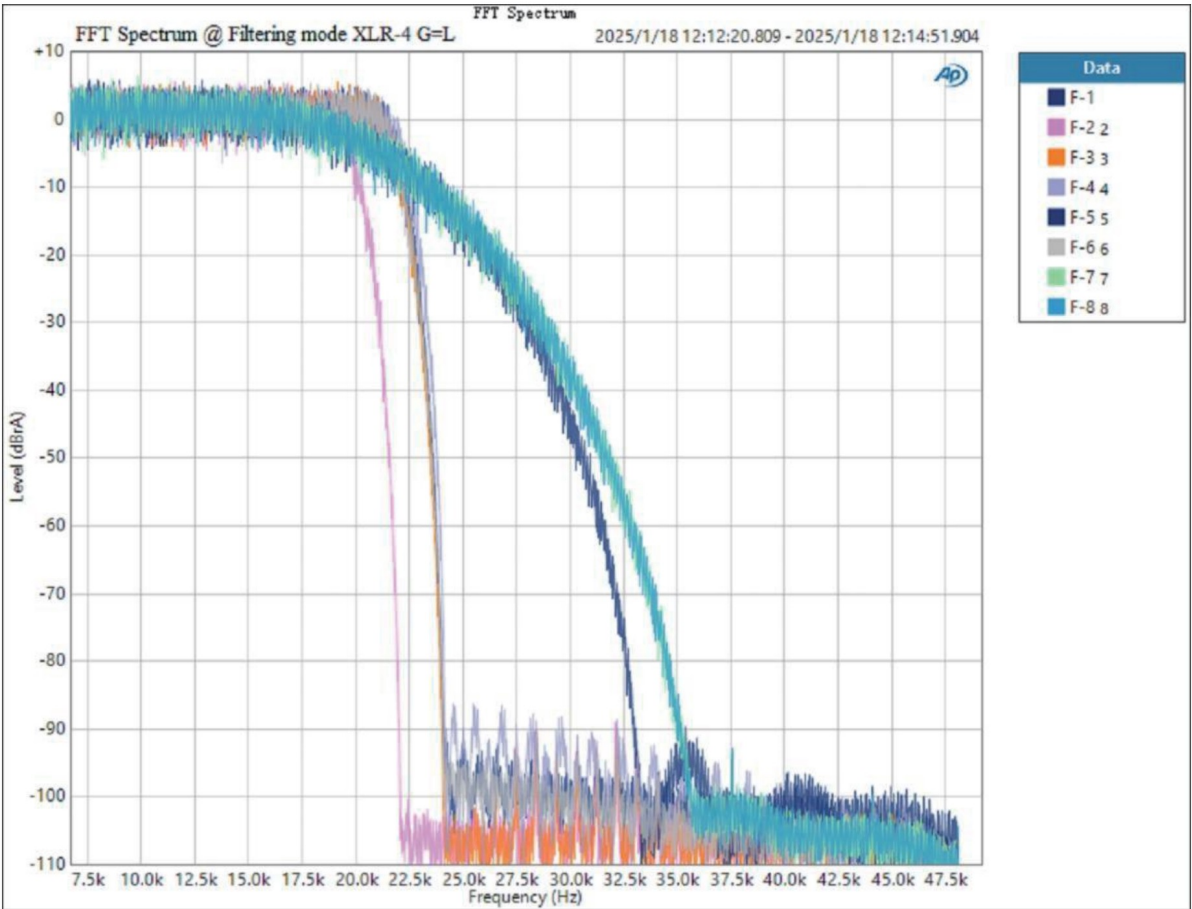


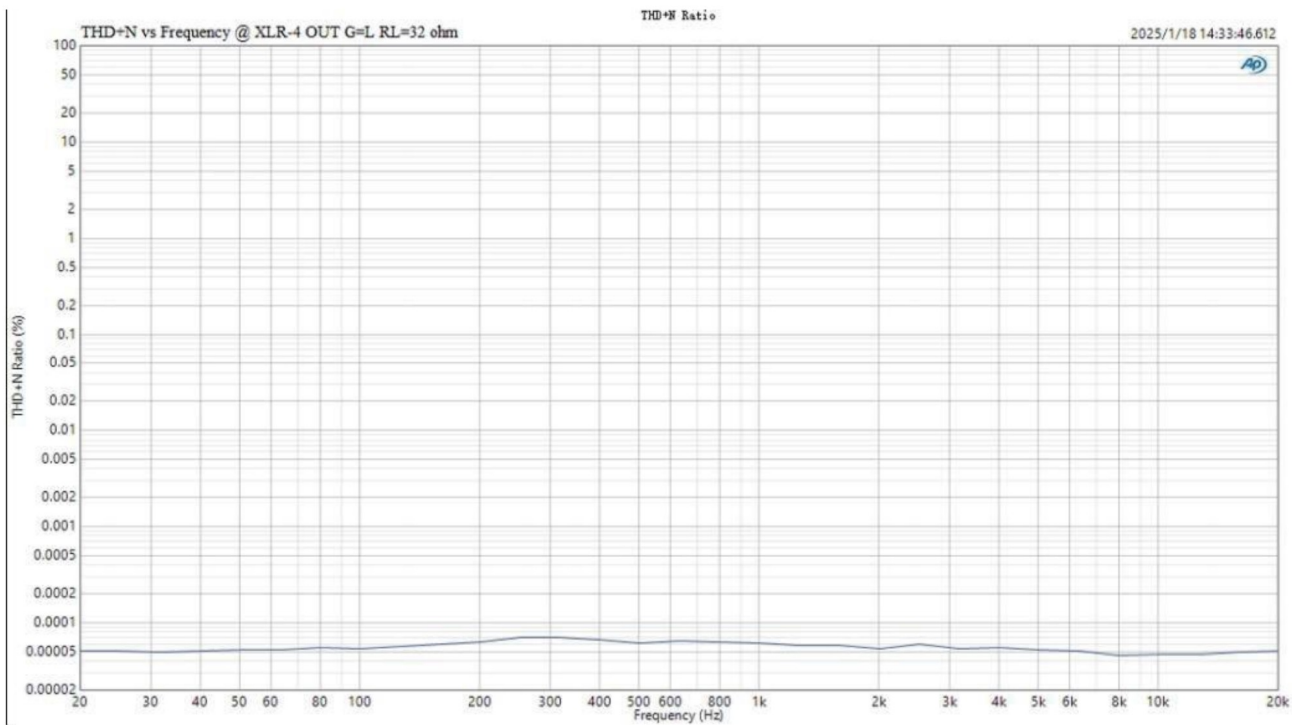






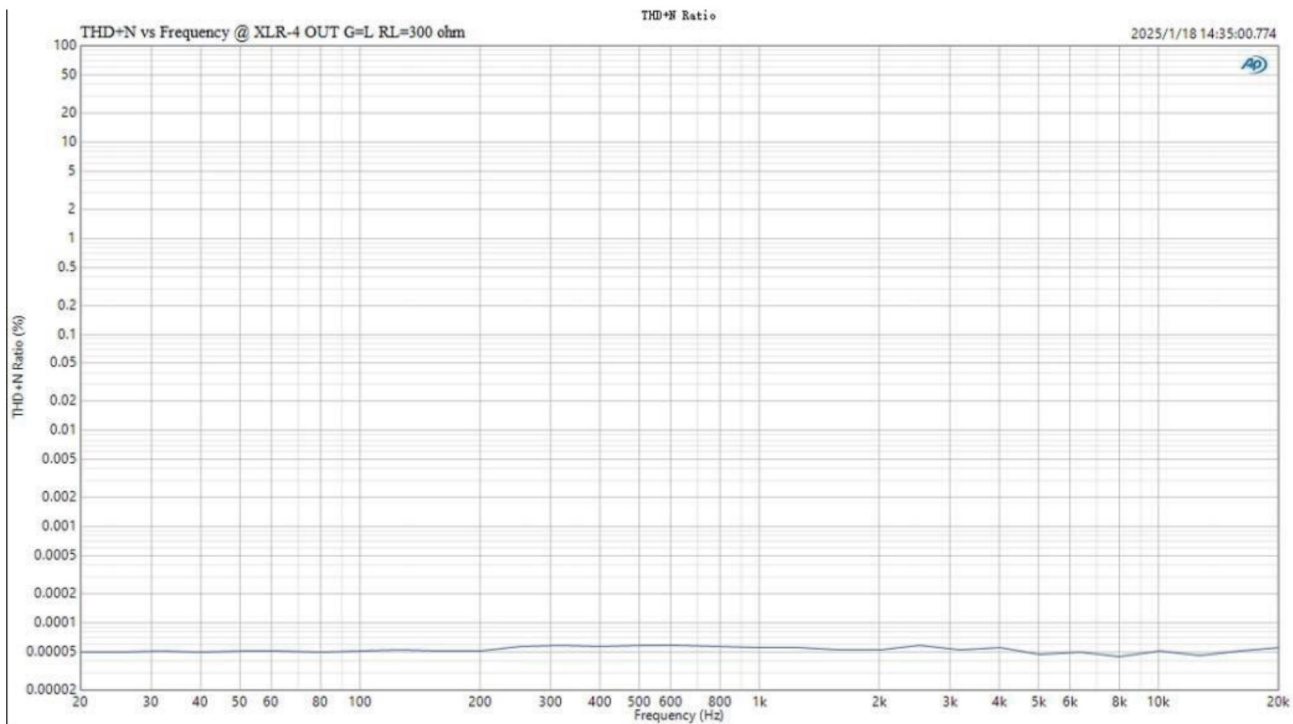






Data

Ch2 19



Data

Ch1 20

